## 参考資料1



第41回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 2015年12月7日

# 平成27年度のモニタリング中間結果(全体)

#### 【月次】

	- · ·-	
1.	モニタリング調査の枠組み・・・・・・・・・・	P2
2.	平成27年度のモニタリング計画・・・・・・・・	P4
3.	太郎右衛門地区全体の調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P9
4.	自然再生事業の実施計画に関わる調査 ・・・・・・	P79

#### 【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から<u>生物の位置に関わる情報などは</u> <u>非表示</u>としています。 ご了承下さい。

# 1. モニタリング調査の枠組み

- ●生態系モニタリング専門委員会では、2つの枠組みでモニタリング調査を考えて行くことが合意されました。
- 太郎右衛門地区全体の調査 → 地区全体の環境を良好な状態で管理していくために必要な情報の収集
- 自然再生事業の実施計画に関わる調査(整備の効果を見る調査) → 目標種の生態に応じた情報の収集

## ●太郎右衛門地区全体の調査

#### (1段階)網羅的な調査

▶ 地区全体でどこにどのような生物が生息・生育するかという情報は 現時点で不十分なため、これを把握します。



#### (2段階)①貴重な種および良好な環境に対する調査

▶ 保全管理が必要となる貴重な種や良好な環境の実態を把握します。

#### (2段階)②外来種などの問題生物に対する調査

▶ 抑制管理が必要となる外来種などの問題生物の実態を把握します。

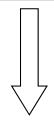
## ●自然再生事業の実施計画に関わる調査

#### (1段階)目標種の出現の有無を確認する調査



#### (2段階)目標種の生息・生育実態を確認する調査

▶ 繁殖や採餌など、整備地の利用実態を把握します。

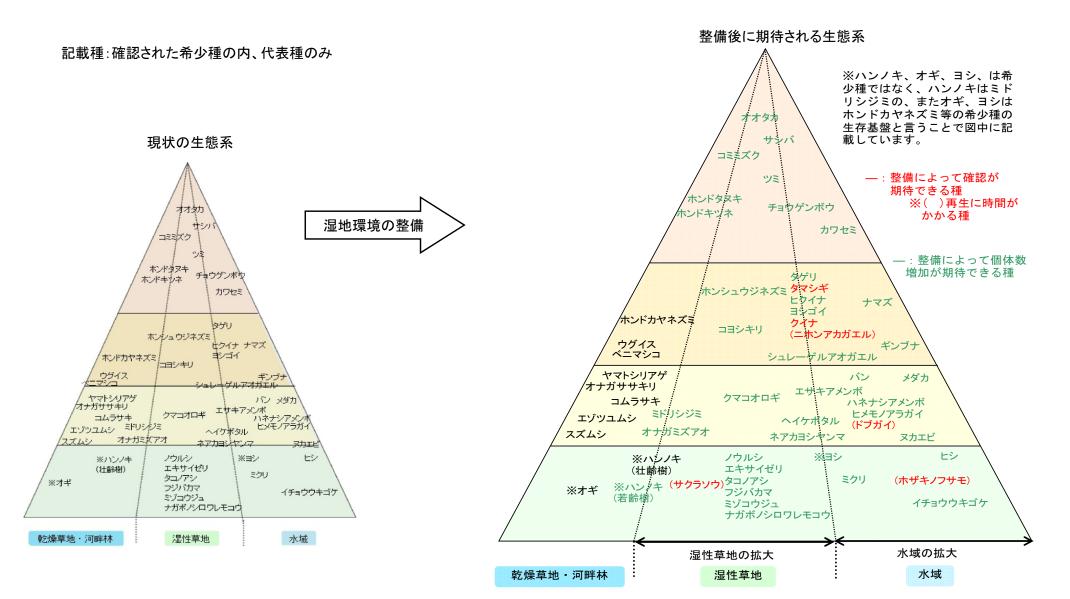


#### (3段階)目標種の定着状況を確認する調査

▶ 整備地での定着状況を把握します。

## 参考:目標種

- ●再生によって期待する生態系(全体構想書より)
- ・太郎右衛門自然再生地では、現状よりも豊かな湿地環境があったとされている。特に現在乾燥化著しい上池でも、かつては湧水によって開放水面が形成されていたとされる。
- ・過去に確認された近年確認記録のないタマシギ、クイナ、サクラソウなどが普通に見られる様な湿地環境の再生が望まれる。

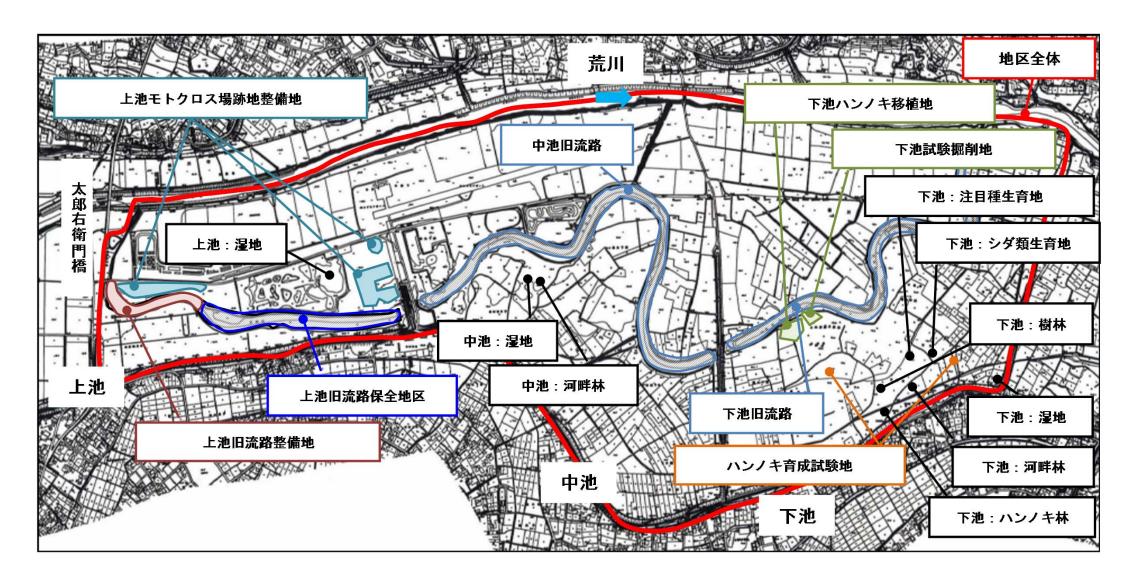


	:報告部分
--	-------

	10.00	_													
区分	場所	テーマ	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
	旧流路・全域	水位・地下水位													·連続観測
	旧流路	水質													· 6回調査
	11.W.S. F.	写真 植物相					•								・2ヶ月に1回
						<b></b>				<b></b>	ļ	ļ	ļ	<b></b>	- 5月・10月 10月
		場所 物 植生図							•						· 夏~秋季:群落成立期 池シダ類生育地 は実施無し
太郎右衛門		群落組成													・夏~秋季:群落成立期(下池樹林のみ実施)
地区全体 の調査	A 1_b	鳥類			•										·6月:多くの鳥類の繁殖期
の加重	全域	陸上昆虫類			•		•								·6月:ミドリシジミ・トンボ類等の出現期 ·8月:多種の確認適期
		両生類・爬虫類・哺乳類 試行調査			•								•		・H28本格実施に向け目標種の一部を実施 タヌキ・キツネ:自動撮影カメラ ニホンアカガエル:早春季に卵塊調査 シュレーゲルアオガエル:繁殖期鳴声調査
		下池野火跡地植物		•					•						・火人れによる植生管埋効果を検証
	上池旧流路 保全範囲	植物(植物相)		•											<ul><li>5月:エキサイゼリの確認適期</li><li>8月:オナモミの確認適期(冠水で中止)</li></ul>
	上池旧流路整備地	写真													· 毎月
		植物相植物植生図		•			•								· 5月:エキサイゼリの確認適期 · 8月:全般的な水生・湿生植物の確認適期
		群落組成													· 夏~秋季:群落成立期 · 6月:繁殖期
		鳥類魚類			•										6月:コイ科魚種の産卵期(当初5月を予定し
		 両生類							_						たが水位が低いため延期) ・2月:ニホンアカガエルの産卵期
<b>→ ₩ == +</b>		写真													<del>27] : 二パンケガガエルの産乳剤                                    </del>
自然再生 事業の 実施計画に	上池	植物相		•			•								·5月:エキサイゼリの確認適期 ·8月:全般的な水生・湿生植物の確認適期
関わる調査	モトクロス場 跡地整備地														·夏~秋季:群落成立期
		鳥類				$\sqcup$									· 6月:繁殖期
		<u>両生類</u>													- 2月 : ニホンアカガエルの産卵期
	ハンノキ育成	写真 ミドリシジミ													· 毎月 · 7月:ミドリシジミの確認適期
	試験地	ハンノキ				$\vdash$								<u> </u>	
	下池ハンノキ 移植地	(高さ・幹径・生育状態) (試験地は群落高のみ)			0					0					· 6月:生育初期 · 11月:生育末期
		写真													·毎月
	下池試験掘削地	植物相・土壌水分		•			•								· 5月:整備初期 · 8月:多くの草本類の確認適期
		植生図													· 夏~秋季:群落成立期

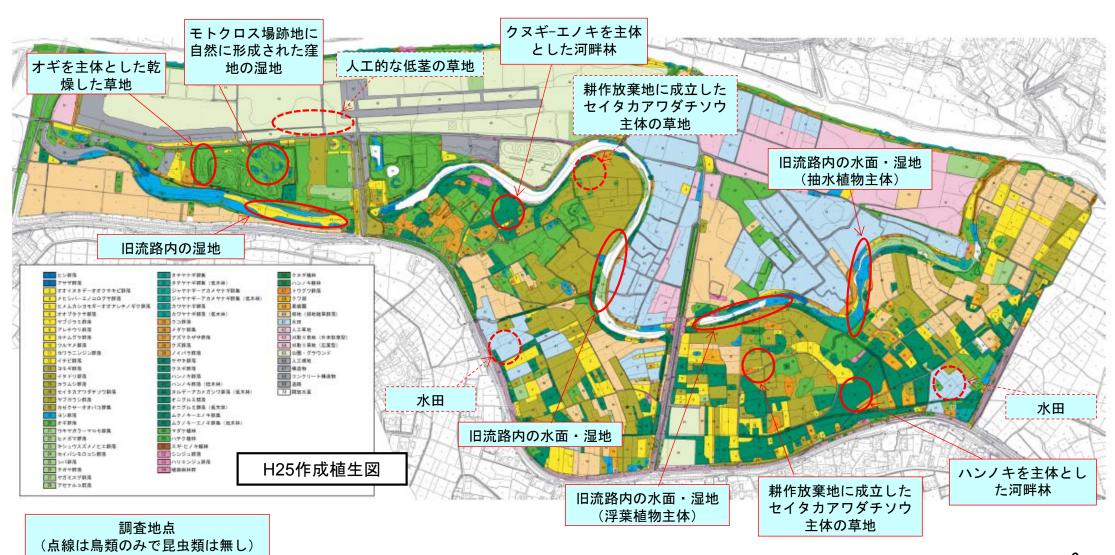
<sup>| ※</sup>初夏のハンノキ・ミドリシジミの合同調査は雨天のため中止しました。(荒上が別日程で調査しました) | ※旧流路の保全範囲の夏季調査は冠水により中止しました。

## 2) モニタリング調査の地点



太郎右衛門地区全体の調査の 鳥類・陸上昆虫類のモニタリング地点

- ●代表的な植生の地点で実施します。(H24と同じ地点とします)
- ●陸上昆虫類については、採集作業を伴うため、実施計画範囲内の地点のみと します。



#### 生物調査の方法と実施日

## 1. 植物調査

	調査対象	方法
	植物相	調査範囲内を踏査し、出現した種を記録する。
植物	植生図	調査範囲内を踏査し、出現した群落を記録し植生図を作成する。
1년 19月		調査範囲内の代表的な群落を対象にコドラート(2m×2m程度を想定)を 設置し、階層別の分布種と被度・群度を記録し断面模式図を作成する。



## 2. 鳥類調査

調査対象	方法
鳥類	調査範囲を見通せる定点において、出現する種を記録する。



## 3. 陸上昆虫類調査

調査対象	方法
陸上昆虫類	調査範囲内を踏査し、目撃・任意採集により確認した種を記録する。



## 4. 両生類・爬虫類・哺乳類試行調査

	調査対象	方法
両生類・爬虫	シュレーゲルアオガエル	調査範囲内を踏査し、姿・鳴き声により生息の有無を確認・記録する。
類•哺乳類	自動撮影	調査範囲内に自動撮影カメラを設置する。(下池に5箇所)
試行調査	アカガエル類	調査範囲内を踏査し、卵塊の有無を確認・記録する。



## 5. 魚類調査

調査対象	方法
魚類	調査範囲内において、タモ網・投網・セルビン等を使用し、生息する種を採 捕する。







## 6. ミドリシジミ調査

調査対象	方法
ミドリシジミ	移植したハンノキを対象に、ミドリシジミの飛来状況を目視で確認する。



## 7. ハンノキ調査

調査対象	方法
ハンノキ	移植したハンノキを対象に、移植地では毎木の樹高・樹径を計測、移植地 と試験地では毎木の生育状況(良否、生存・枯死など)を確認・記録する。



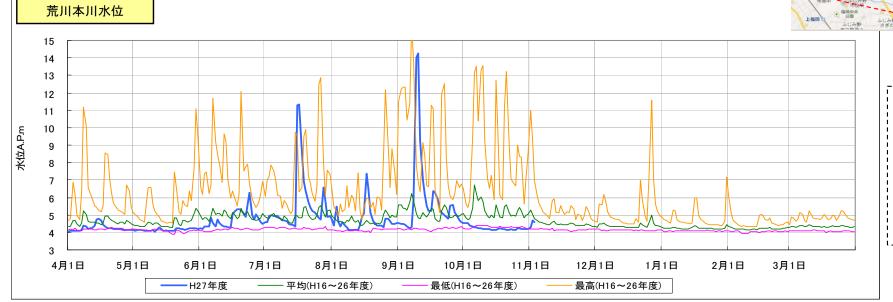
## 【調査日】

調査対象			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
植物	植物相 植生図		11-14日			3-5日		5-9日 5-9日					
他物	上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上							5-9日					
	鳥類			17-19日									
	<b>陸上昆虫類</b>			22-24日		10-12日							
両生類・爬虫類・哺乳	1.類 シュレーゲルアオガエル 自動撮影			17-19日 22-24日									
試行調査	自動撮影 アカガエル類			6/17	<b>~</b> 8/12								
	アカカエル類												
	魚類			24-25日									
	ミドリシジミ			18-19日									
ハンノキ (高さ・幹径・生育状態) (試験地は群落高のみ)				15-16日					17-18日				

## 1) 水位・地下水位 ①荒川本川水位と降雨量

- ●降雨量は、4、5、10月は少雨、6、8月は平年並み、7月は多雨、9月は台風の影響により過去最大でした。
- ●荒川本川水位は、4、5月は最低値付近を、6月は平均値付近を推移し、7月、8月、9月は平均付近から過去最大規模へと変動が大きく、10月には再び最低値付近を示していました。





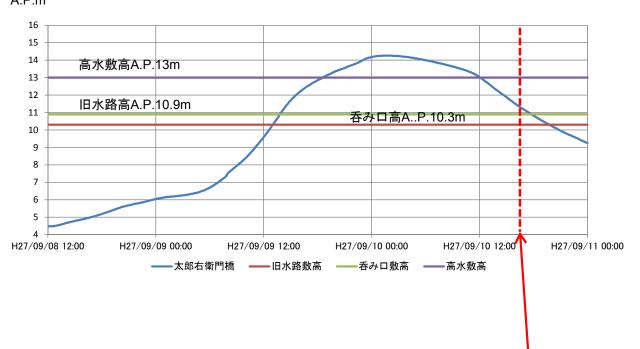
- グラフ中の平均、最低、最高は、H16~26年度の11ヶ年の1日ごとに求めたものです。
- 「1日」ごとのデータは、 荒川本川はその日の時間最 高水位、地下水位は日平均 水位です。

次頁以降の空撮の時刻

## 1) 水位・地下水位 ①荒川本川水位と降雨量

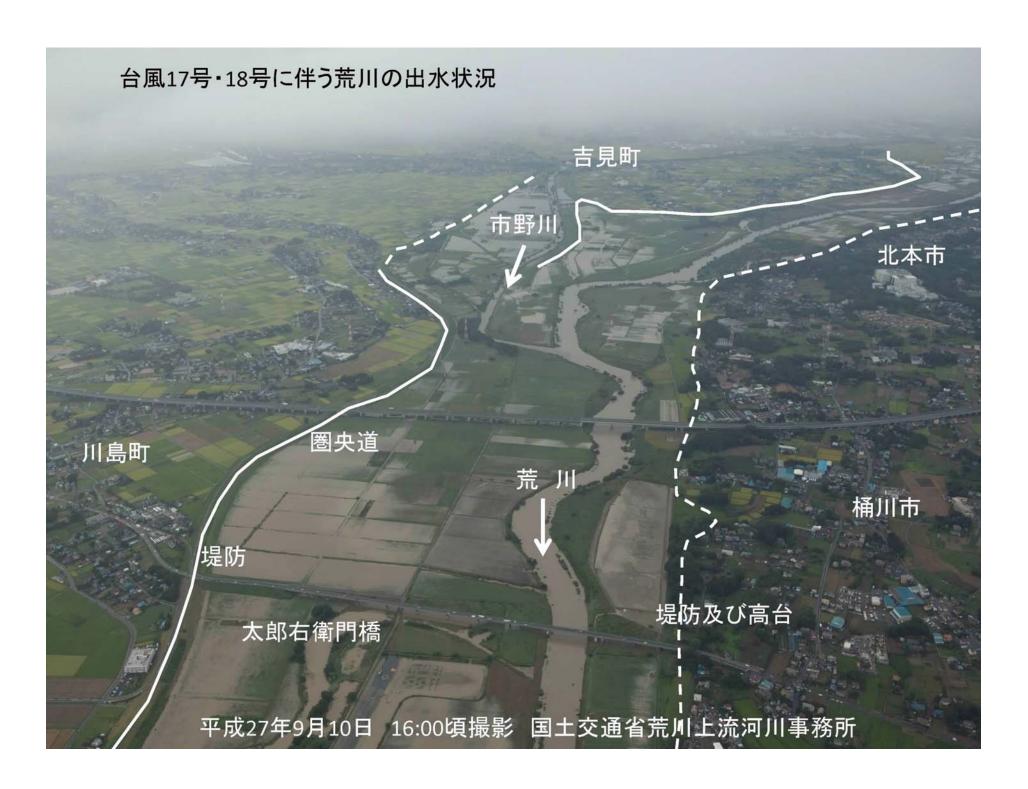
〇9月10日の出水で、長い時間、旧流路への流入が発生しました。

## O太郎右衛門橋水位の状況 A.P.m



#### ○太郎右衛門橋から撮影(9.14)



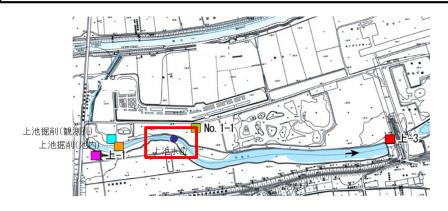


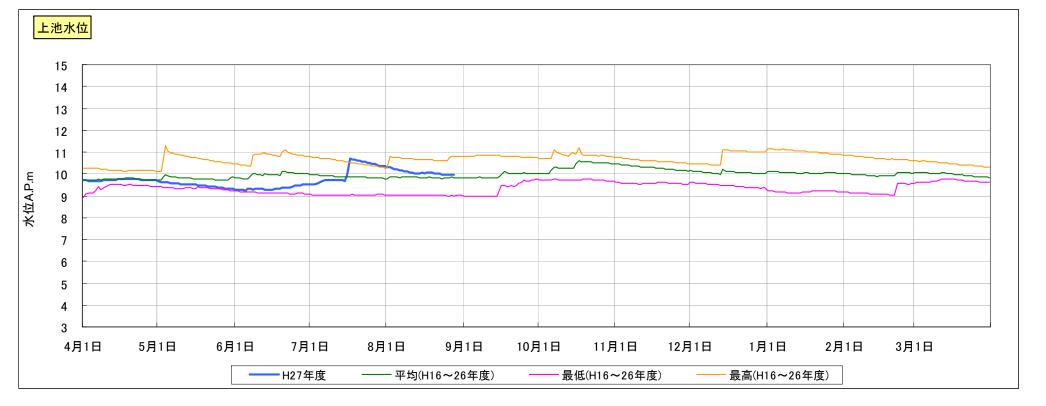




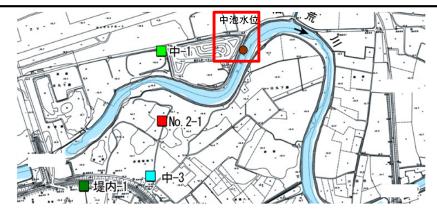


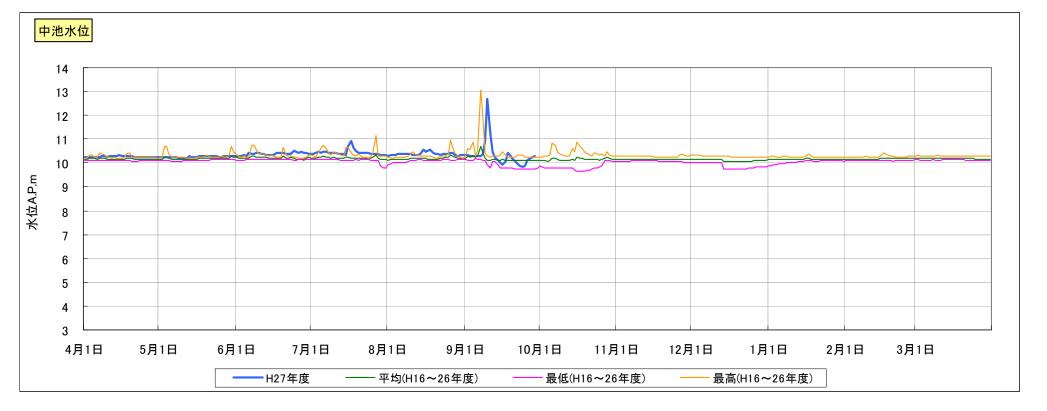
- 1) 水位•地下水位 ②旧流路水位 上池
- ●4月、5月、6月まではおおむね平均値から最低値付近を、7月以降は最大から平均値付近を推移しています。
- \* 最新データは、水位上昇により回収できていません。



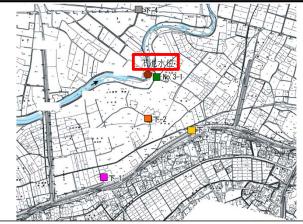


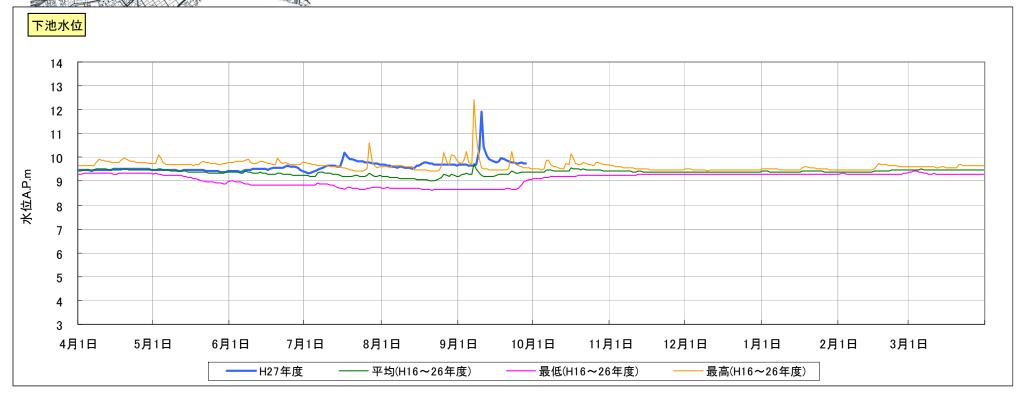
- 1) 水位•地下水位 ②旧流路水位 中池
- ●おおむね最大値付近で推移しています。
- ●9月上旬の降雨時に過去最大に上昇しましたが、すぐに平均に戻っています。



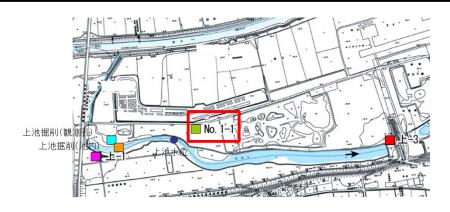


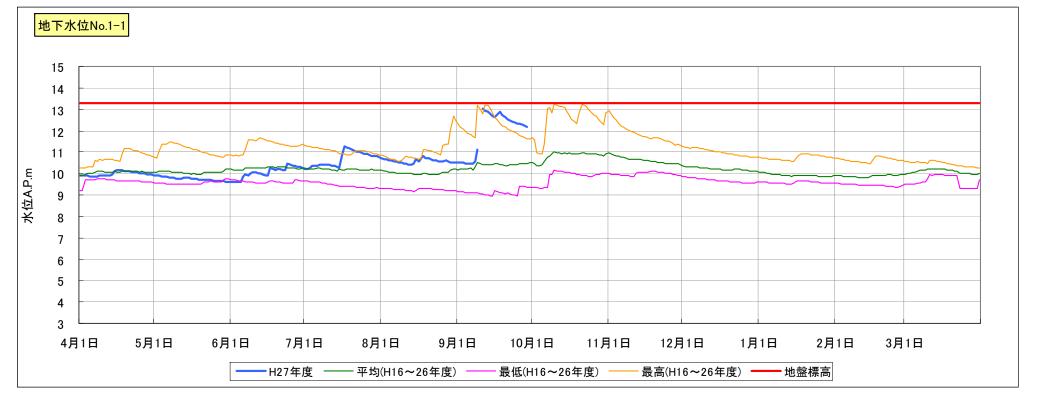
- 1) 水位•地下水位 ②旧流路水位 下池
- ●6月まではおおむね平均値付近で、7月以降は最大値付近で推移していました。
- ●9月上旬の降雨時に過去最大付近まで上昇し、しばらく高い位置で推移しています。



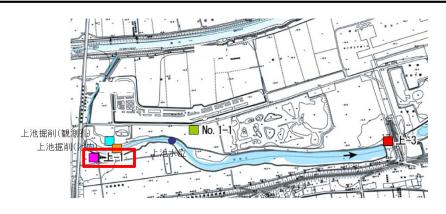


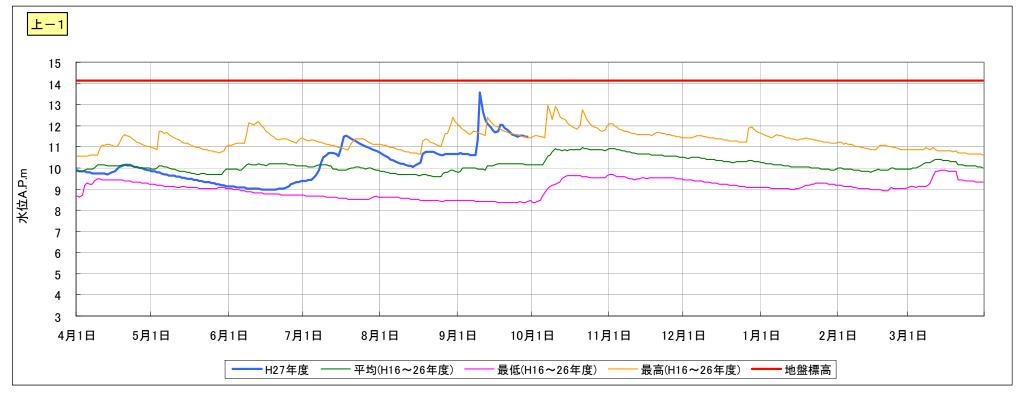
- 1) 水位·地下水位 ③地下水位 上池 No.1-1
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



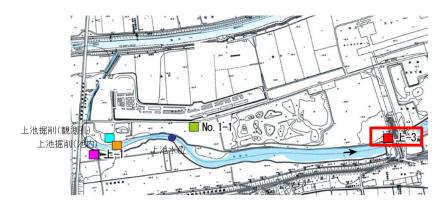


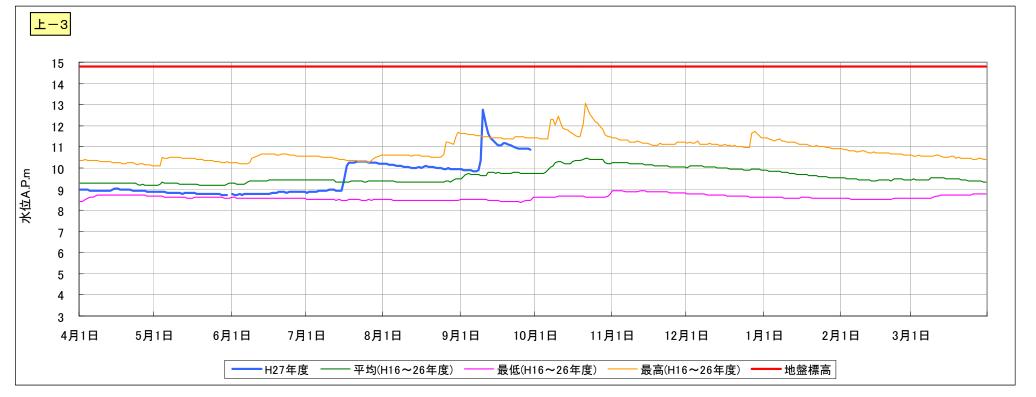
- 1) 水位•地下水位 ③地下水位 上池 上-1
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



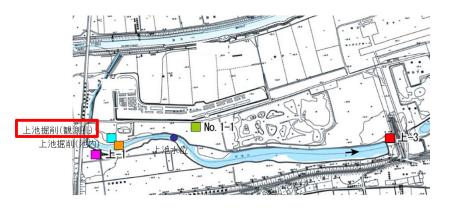


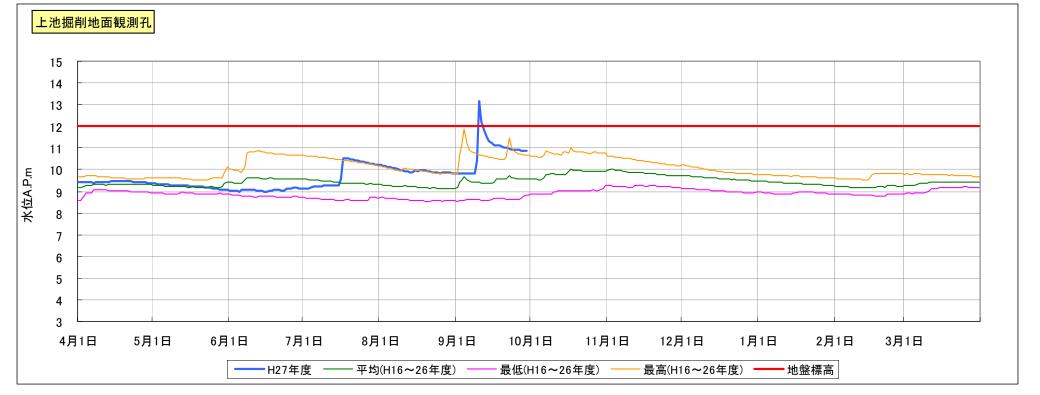
- 1) 水位 地下水位 ③地下水位 上池 上-3
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



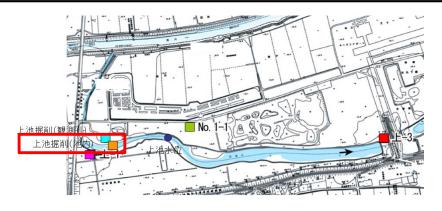


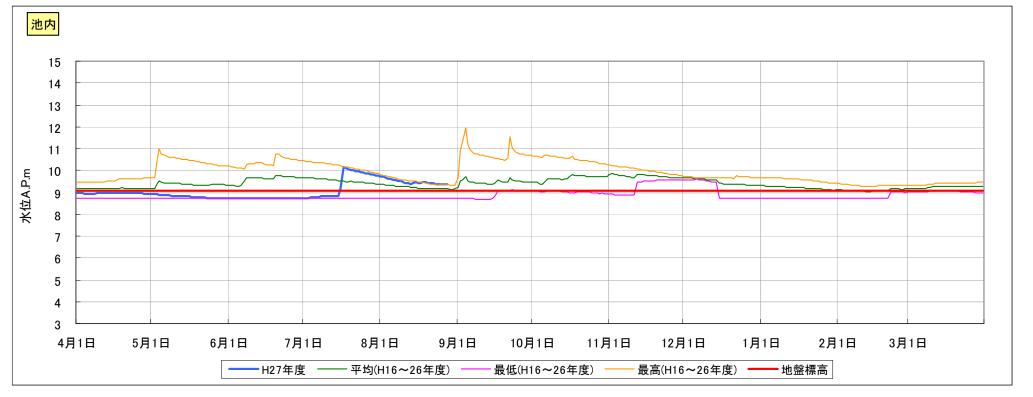
- 1) 水位 地下水位 ③地下水位 上池 上池掘削 (観測孔)
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



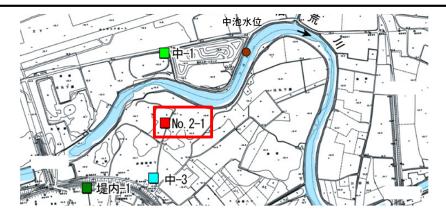


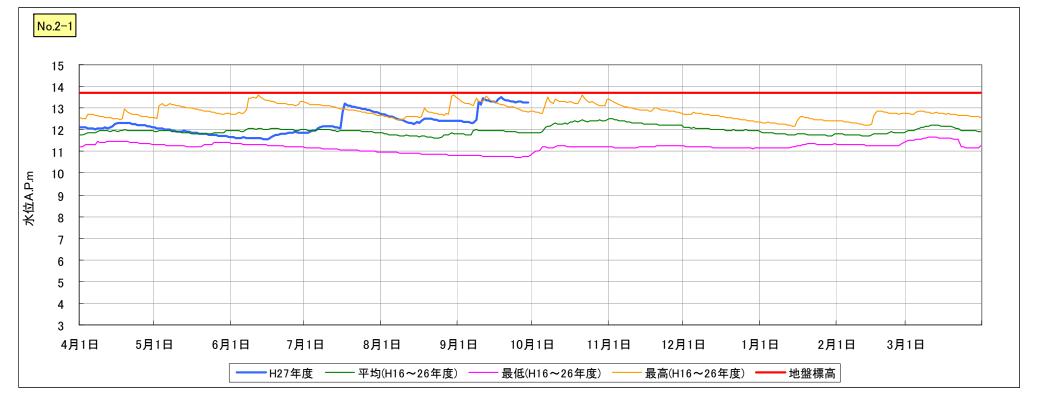
- 1) 水位 地下水位 ③地下水位 上池 上池掘削 (池内)
- ●4月から6月にかけては平均値付近から低下値付近で推移しましたが、7月に最大値付近に上昇し、以後継続して推移しています。 \*最新データは、水位上昇により回収できていません。



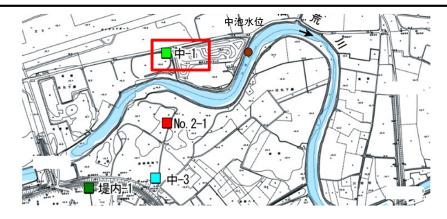


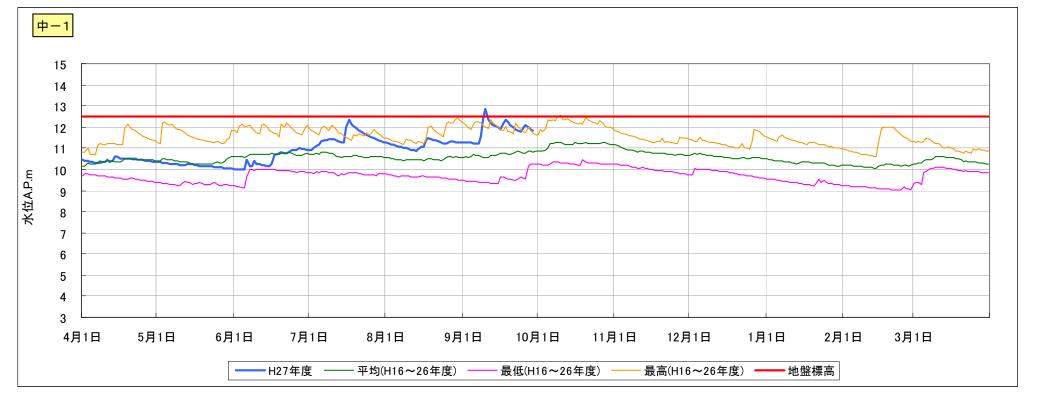
- 1) 水位·地下水位 ③地下水位 中池 No.2-1
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



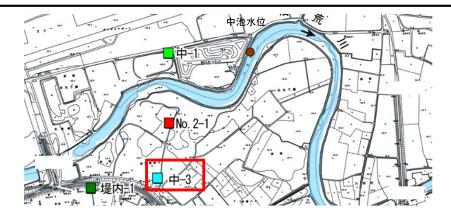


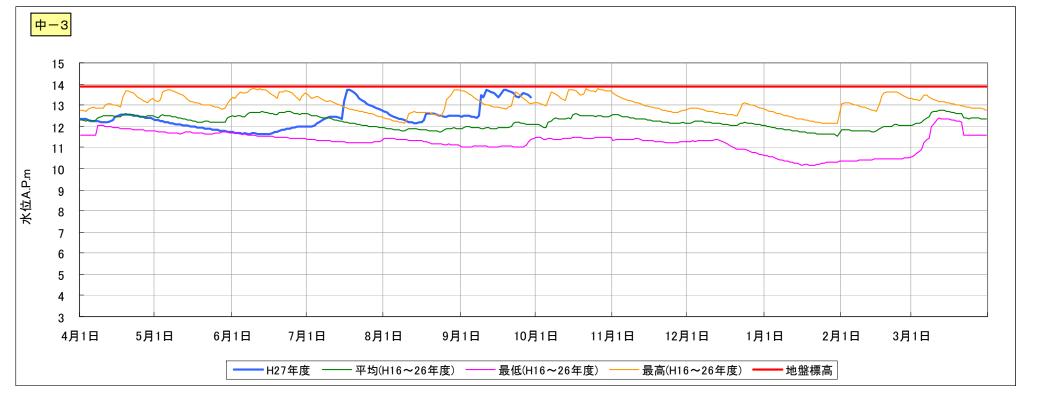
- 1) 水位•地下水位 ③地下水位 中池 中-1
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



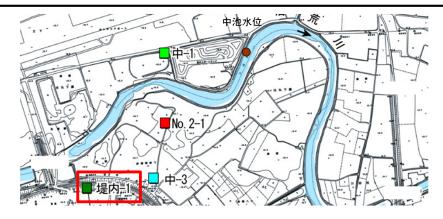


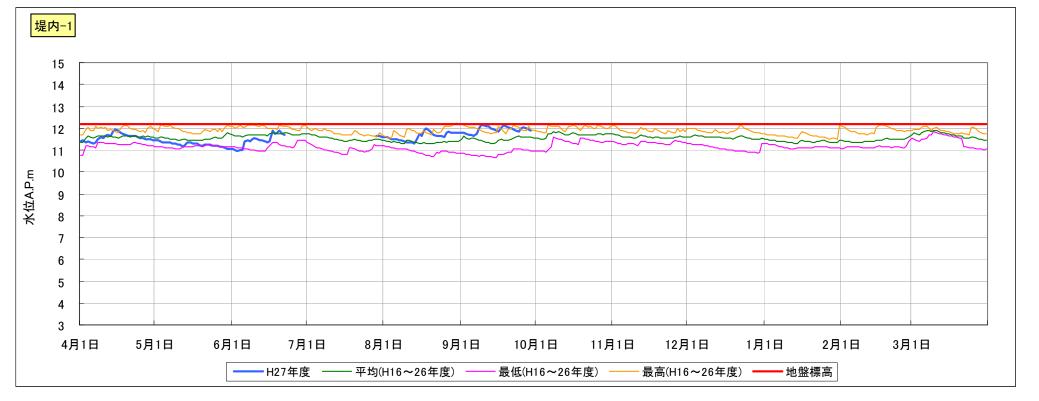
- 1) 水位 地下水位 ③地下水位 中池 中-3
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



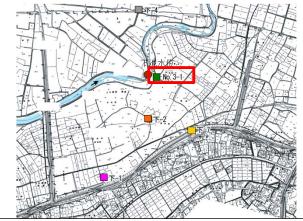


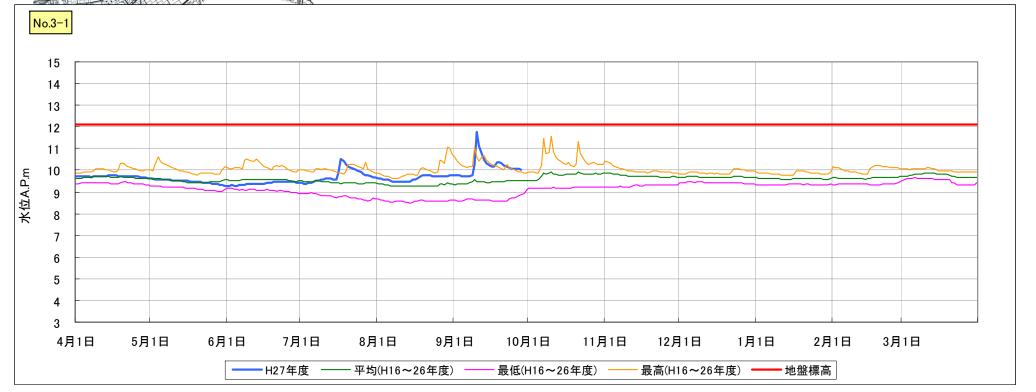
- 1) 水位•地下水位 ③地下水位 中池 堤内-1
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



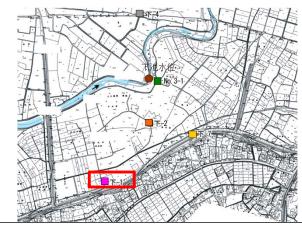


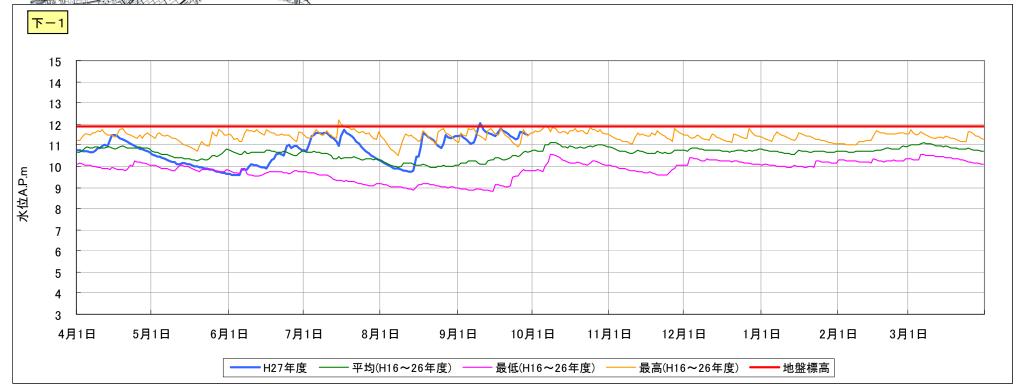
- 1) 水位 · 地下水位 ③地下水位 下池 No.3-1
- ●4月、5月、6月は平均値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



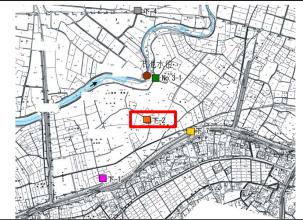


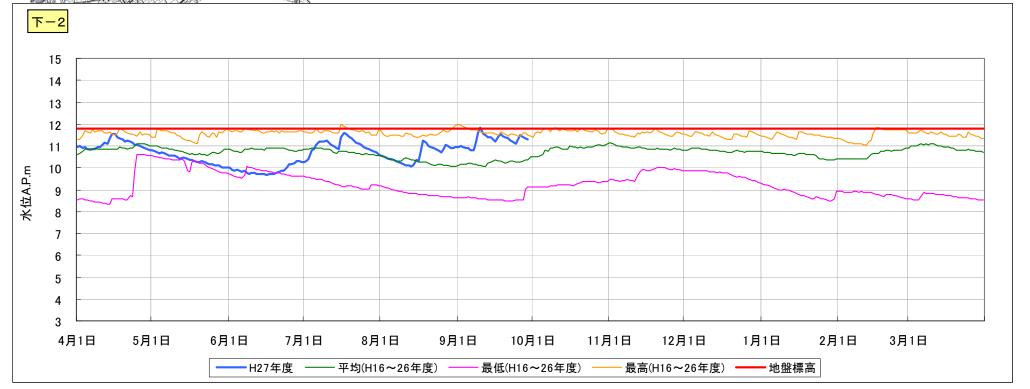
- 1) 水位•地下水位 ③地下水位 下池 下-1
- ●6月上旬に最低値付近まで、8月中旬に平均値付近に低下しましたが、おおむね最大値付近を継続して推移しています。



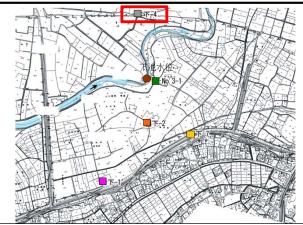


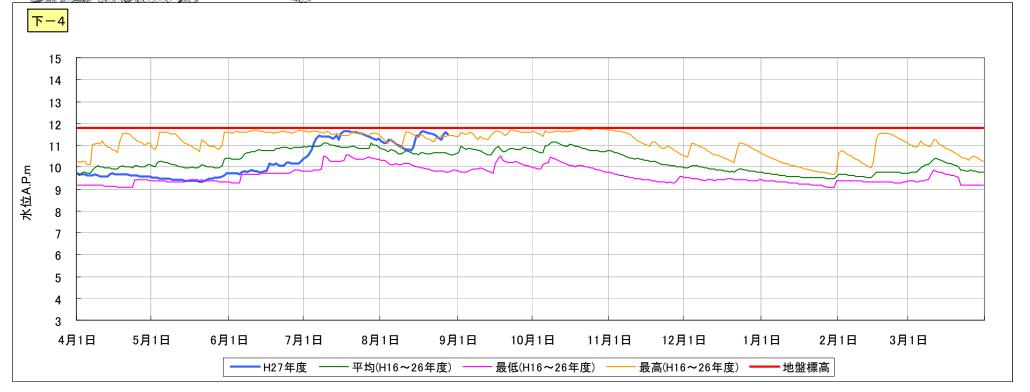
- 1) 水位 地下水位 ③地下水位 下池 下-2
- ●4月、5月、6月は最大値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



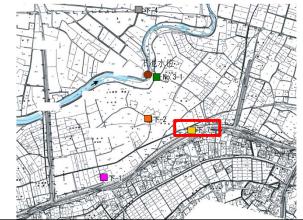


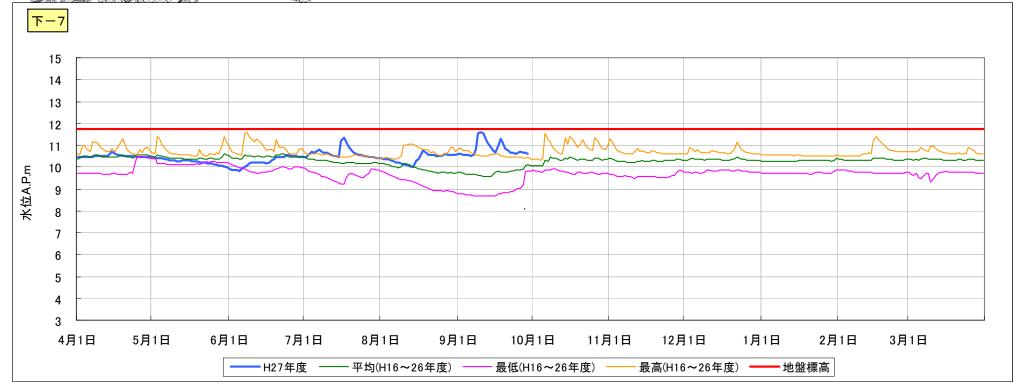
- 1) 水位 地下水位 ③地下水位 下池 下-4
- ●4月、5月、6月は最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。



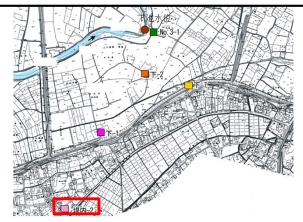


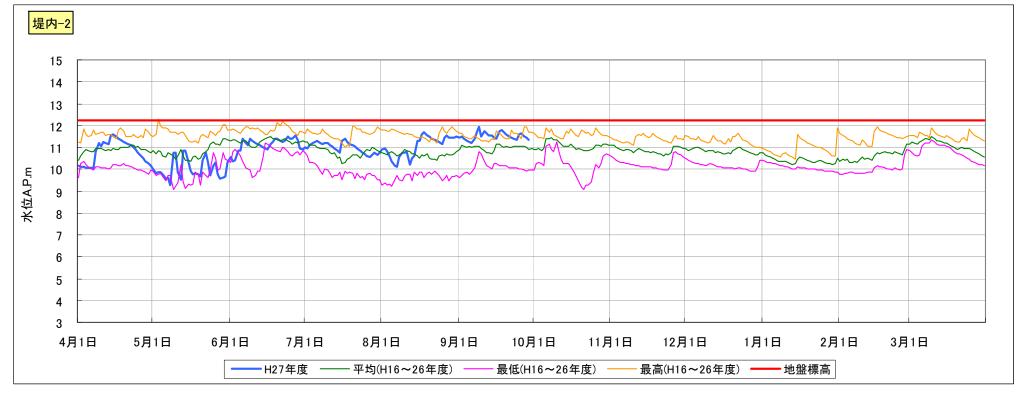
- 1) 水位 地下水位 ③地下水位 下池 下-7
- ●4月、5月、6月は平均値から最低値付近を推移し、7月以後はおおむね最大値付近を継続し、9月上旬の降雨時にも過去最大付近まで上昇してしばらく高い位置で推移しています。





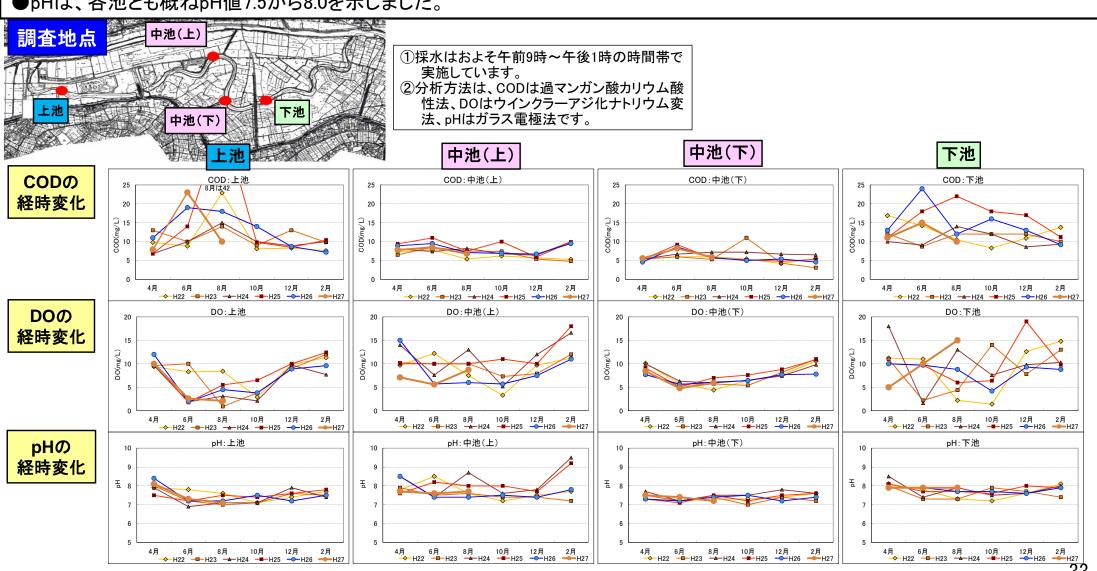
- 1) 水位•地下水位 ③地下水位 下池 堤内-2
- ●4月は最大値付近で、5月は平均値から最低値付近を上下し、6月、7月に平均値付近を推移し、8月に最大値付近に上昇し、以後継続して推移しています。





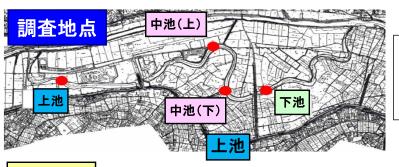
## 2) 水質

- ●COD·DO·pHとも、過年度と同様の濃度と経月変化傾向を示していました。
- ●CODは、比較的低い中池でも5mg/L付近からそれ以上であり、富栄養の状態にあります。
- ●DOは、上池で6月は2.6mg/L、8月は2.1mg/Lを示しましたが、各池とも概ね5mg/L付近からそれ以上を示しました。
- ●pHは、各池とも概ねpH値7.5から8.0を示しました。



## 2) 水質

- ●T-N•T-Pともおおむね過年度と同様の濃度と経月変化傾向でした。
- ●各池ともおおむねT-Nで1mg/L以上、T-Pで0.1mg/L付近かそれ以上であり、富栄養の状態にあります。
- ●中池では赤城樋管流入口付近の下流側地点(T2-2)の方が値が高いため、流入水が負荷原になっている可能性が考えられます。

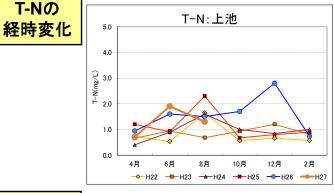


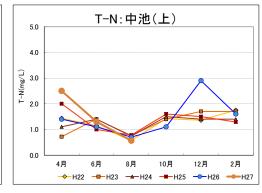
- | ①採水はおよそ午前9時~午後1時の時間帯で | 実施しています。
- ②分析方法は、T-Nはペルオキソニ硫酸カリウム分解-紫外線吸光光度法、T-Pはペルオキソニ硫酸カリウム分解-吸光光度法です。

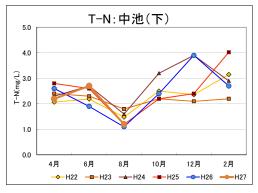
#### 中池(上)

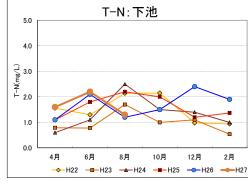
## 中池(下)

#### 下池

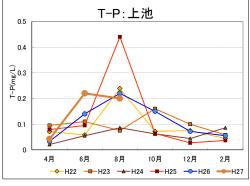


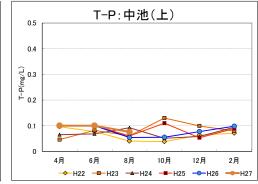


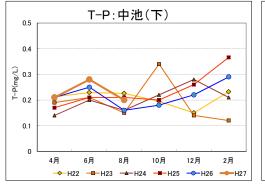


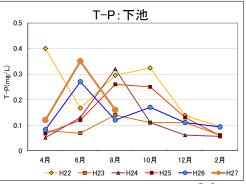






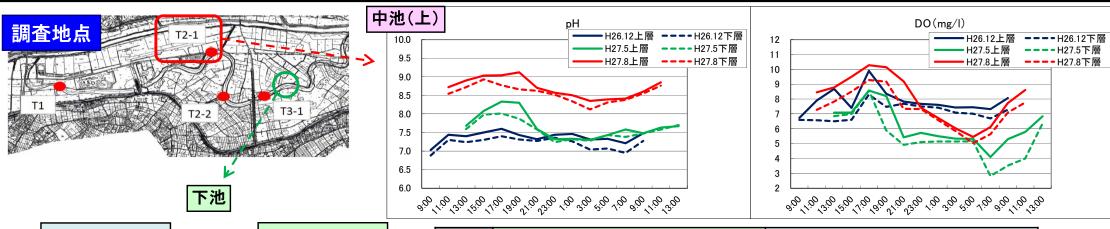






## 2) 水質•底質

- ●5月19日、8月6日に以下の水質・底質計測を実施しました。
- ①DO·PHの日内変動を把握するため、25時間、2時間毎に計13回の機器測定を実施しました。
- DOの季節変動が大きく水深が深い「中池(上):T2-1」で表層と底層を計測しました。
- 当日の水深は5月は90cm、8月は88cm。天候は5月は曇り、8月は晴れでした。
- ⇒ DOの表層は、日中は定期調査と同等の6-8mg/Lでしたが、夕方に10mg/L付近まで上昇し、朝方に低下しました。底層は表層より常に低い値でした。
- ⇒ pH、DOともに同じ傾向の変動を示し、大きな日内変動があることが確認されました。
- ②底質の状態を確認するため、ORP(酸化還元電位)の機器測定を実施しました。
- 周辺農地からの排水の影響が懸念される「下池:T3-1」で実施しました。
- 抽水植物帯の中と外で計測しました。
- ⇒ ORPは植物帯の中外ともにマイナスで、還元状態にあることが確認されました。(植物帯内の方がより強い還元状態でした)



抽水植物带外

抽水植物带内

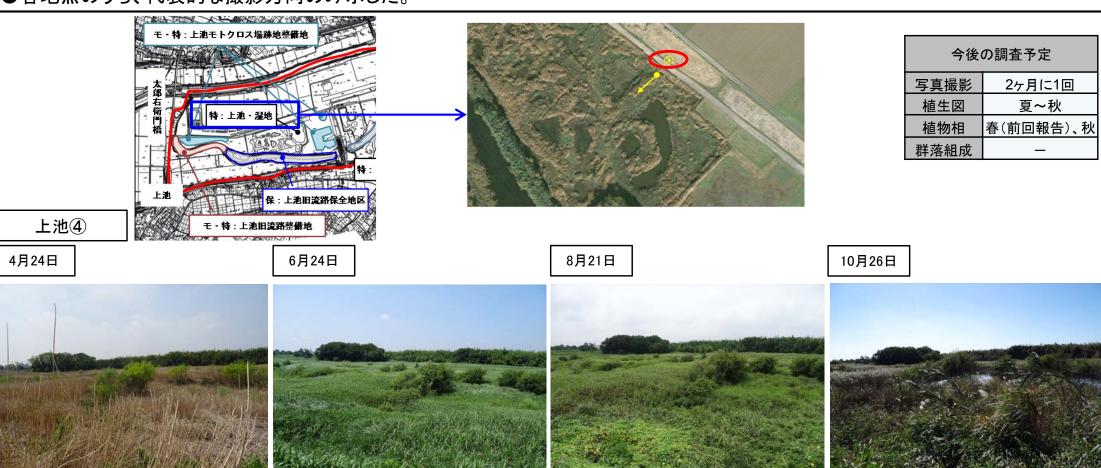




項目	抽	水植物帯の内	部	抽水植物帯の外部					
	H26.12月	H27.5月	H27.8月	H26.12月	H27.5月	H27.8月			
ORP	-328	-410	-395	-313	-250	-292			
泥温	8.2°C	22.0°C	27.4°C	9.5°C	21.5°C	26.8°C			
色、臭い	黒色、弱 硫化水素 臭	暗黒色、 弱硫化水 素臭	暗黒色、 弱硫化水 素臭	黒色、弱 硫化水素 臭	暗黒色、 弱硫化水 素臭	暗黒色、 弱硫化水 素臭			

## 3) 「特定の場所」の調査:上池・湿地(モトクロス場跡地C)写真撮影

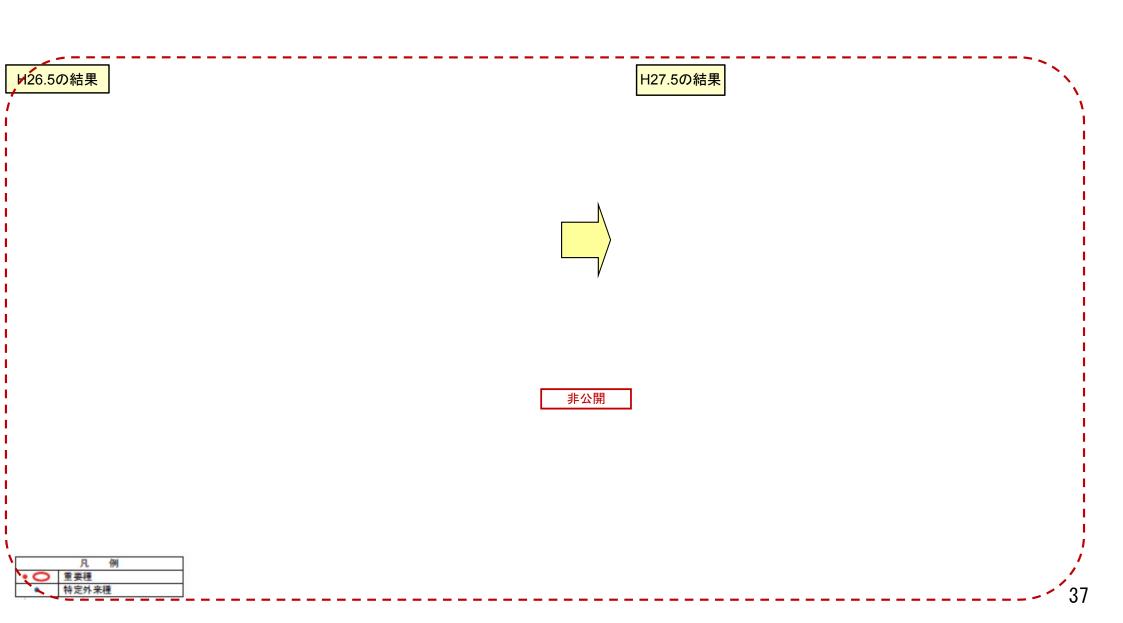
●各地点のうち、代表的な撮影方向のみ示した。



前回報告

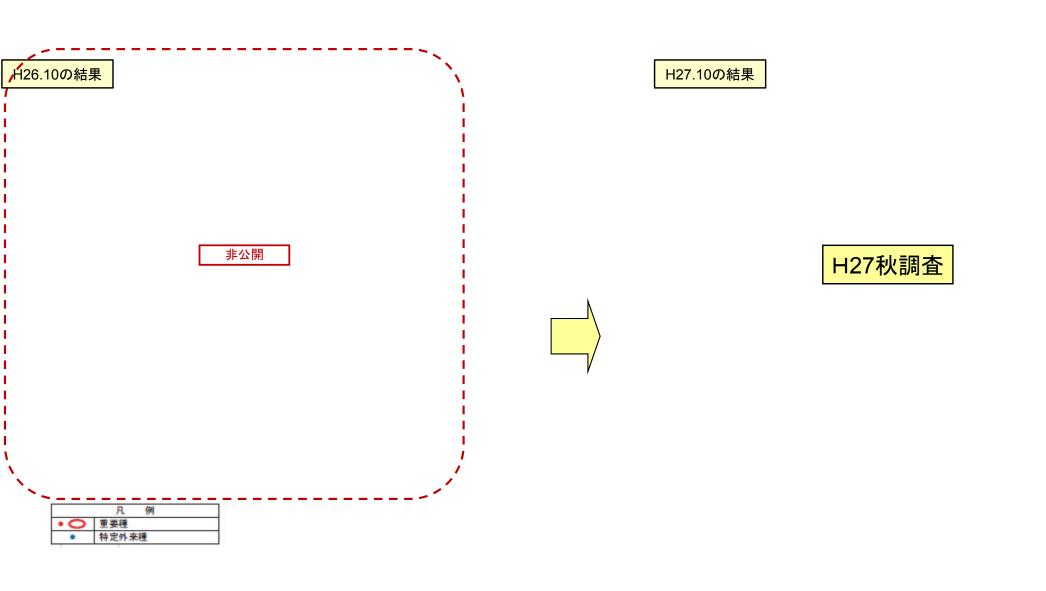
3) 「特定の場所」の調査:上池・湿地(モトクロス場跡地C)植物 重要種・外来種【春季】

非公開



3) 「特定の場所」の調査:上池・湿地(モトクロス場跡地C)植物 重要種・外来種【秋季】

•



3) 「特定の場所」の調査:上池・湿地(モトクロス場跡地C)植物 植物相

非公開

植物相

非公開

【重要種凡例】国:2012、県:2011 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のお それがある地域個体群(LP)、地帯別危惧 (RT)

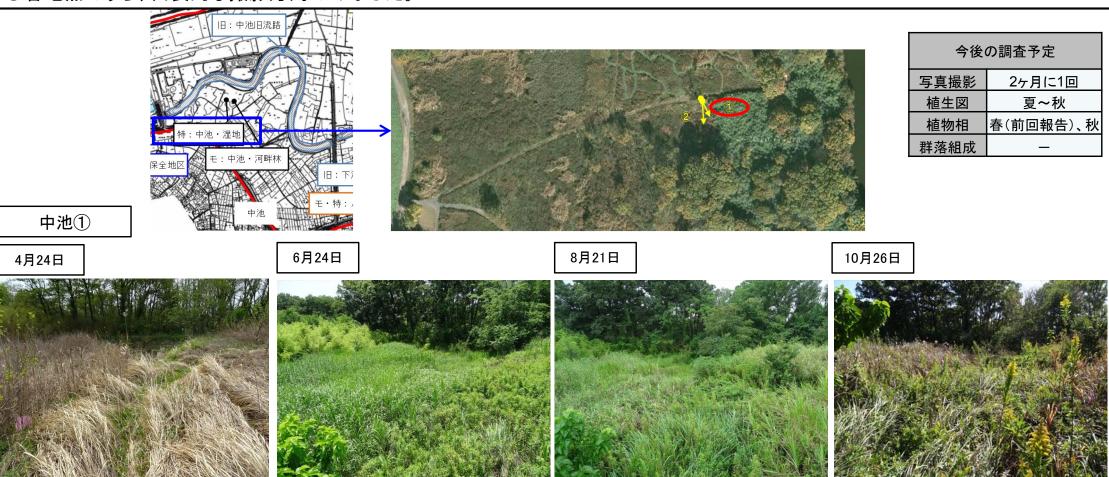
#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれの ある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種 (定着(侵入))、(定着予防外来種) その他 の定着予防外来種(定着(その他))、「総合 的に対策が必要な外来種(総合対策外来 種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点 対策外来種(総合(重点))、その他の総合対 策外来種(総合(その他))、「適切な管理が 必要な産業上重要な外来種(産業管理外来 種)」(産業)

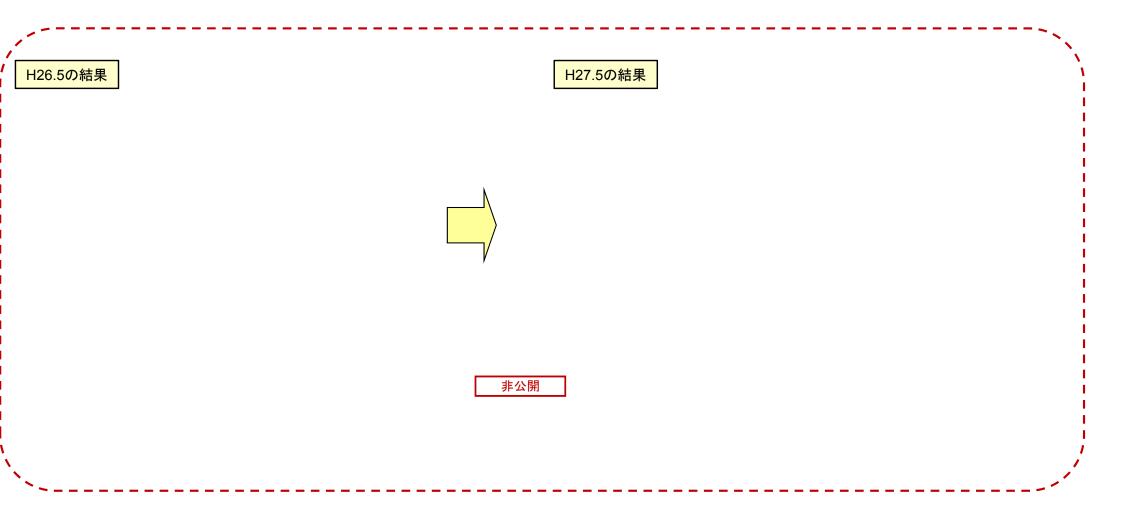
外来種ハンドブック:2002 指定種(O)、 その他:植栽・逸出種(植逸)

### 3) 「特定の場所」の調査:中池・湿地 写真撮影

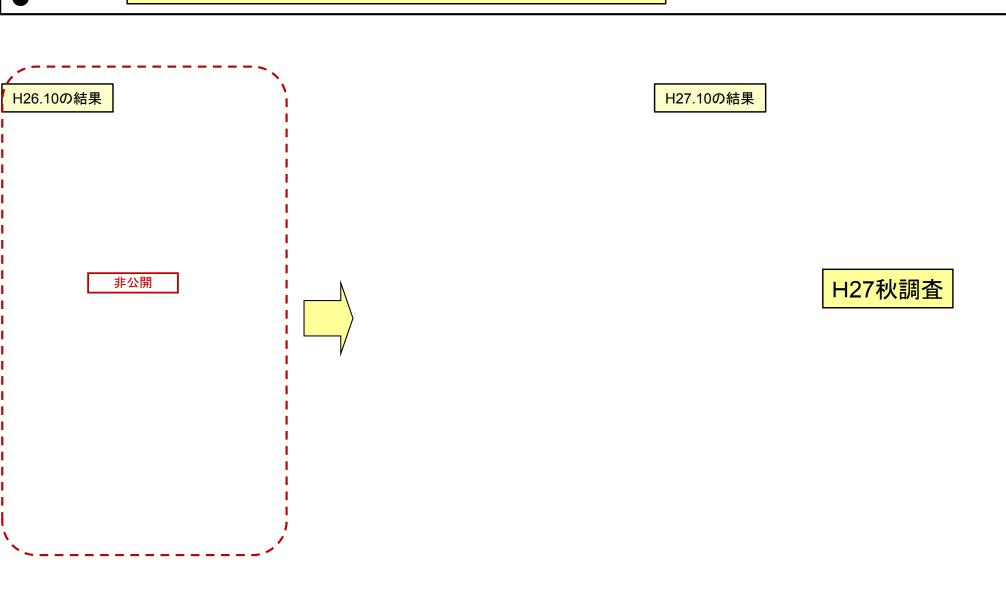


3) 「特定の場所」の調査:中池・湿地 植物 重要種・外来種【春季】

非公開



3) 「特定の場所」の調査:中池・湿地 植物 重要種・外来種【秋季】



3) 「特定の場所」の調査:中池・湿地 植物 植物相

非公開

植物相 非公開

H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

【重要種凡例】国:2012、県:2011 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のお それがある地域個体群(LP)、地帯別危惧 (RT)

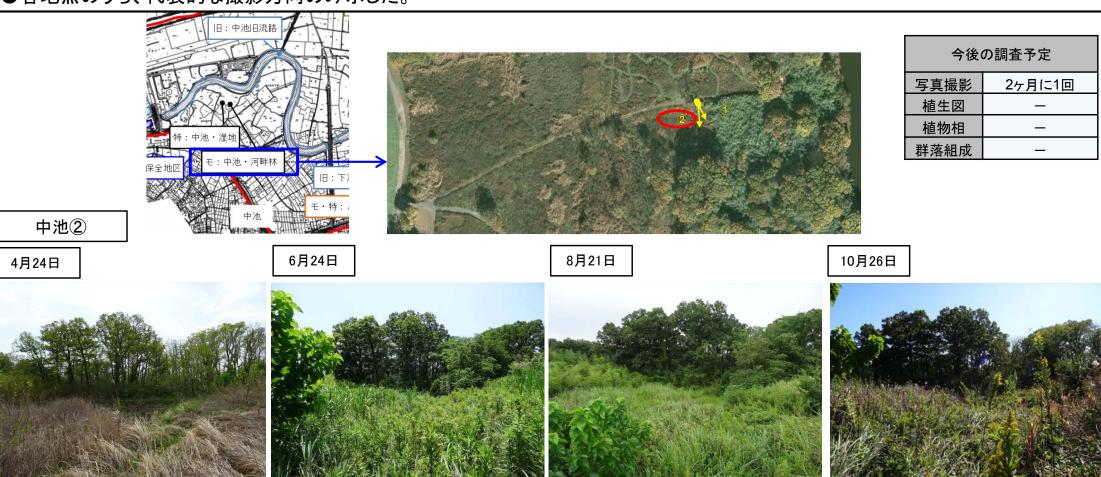
#### 【外来種凡例】

外来生物法: 2004 特定外来種(特定) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれの ある外来種リスト: 2015

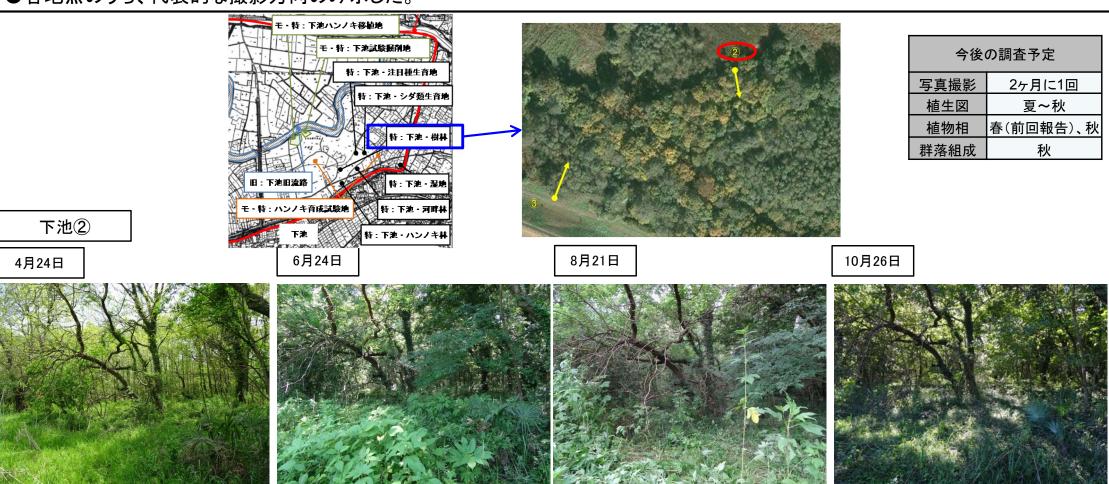
「定着を予防する外来種」侵入予防外来種 (定着(侵入))、(定着予防外来種) その他 の定着予防外来種(定着(その他))、「総合 的に対策が必要な外来種(総合対策外来 種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点 対策外来種(総合(重点))、その他の総合対 策外来種(総合(その他))、「適切な管理が 必要な産業上重要な外来種(産業管理外来 種)」(産業)

外来種ハンドブック:2002 指定種(O)、 その他:植栽・逸出種(植逸)

### 3) 「特定の場所」の調査:中池・河畔林 写真撮影



### 3) 「特定の場所」の調査:下池・樹林 写真撮影

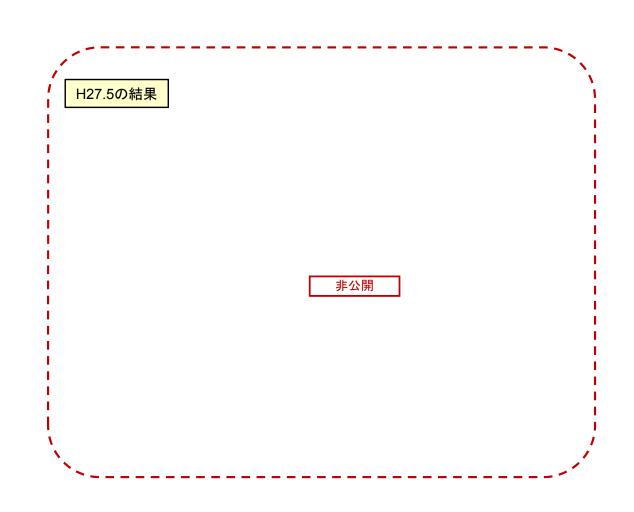


3) 「特定の場所」の調査:下池・樹林 植物 重要種・外来種【春季】

非公開

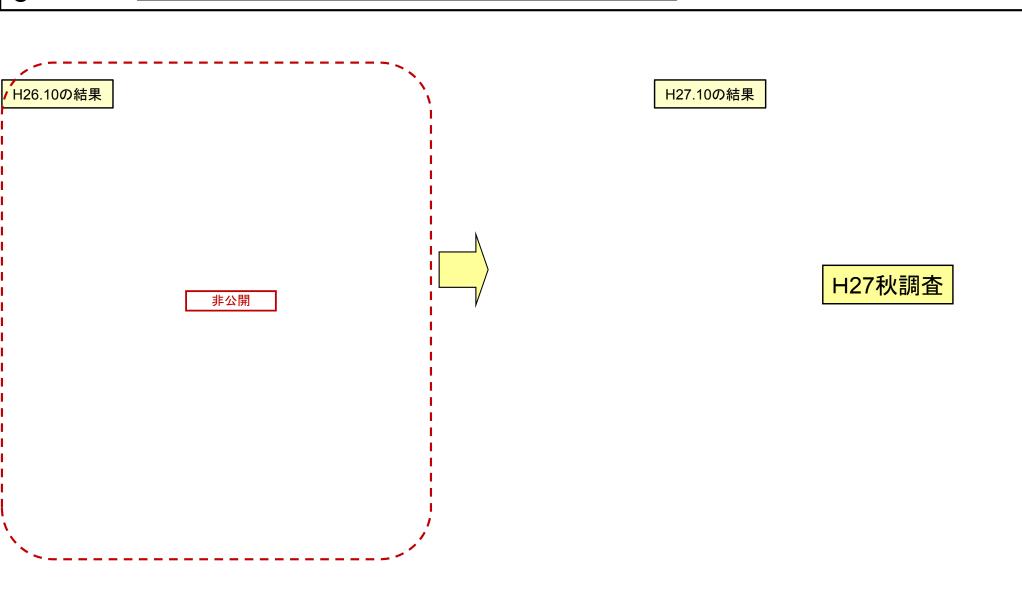
H26.5の結果

H26春季の調査実施はありませんでした ¦



注:植生図はH26秋に作成したも のを使用しています

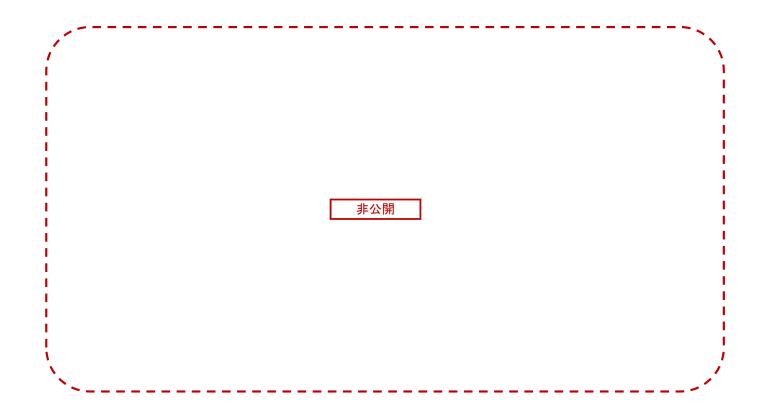
3) 「特定の場所」の調査:下池・樹林 植物 重要種・外来種【秋季】



3) 「特定の場所」の調査:下池・樹林 植物 植物相

非公開

植物相



【重要種凡例】国:2012、県:2011 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のお それがある地域個体群(LP)、地帯別危惧 (RT)

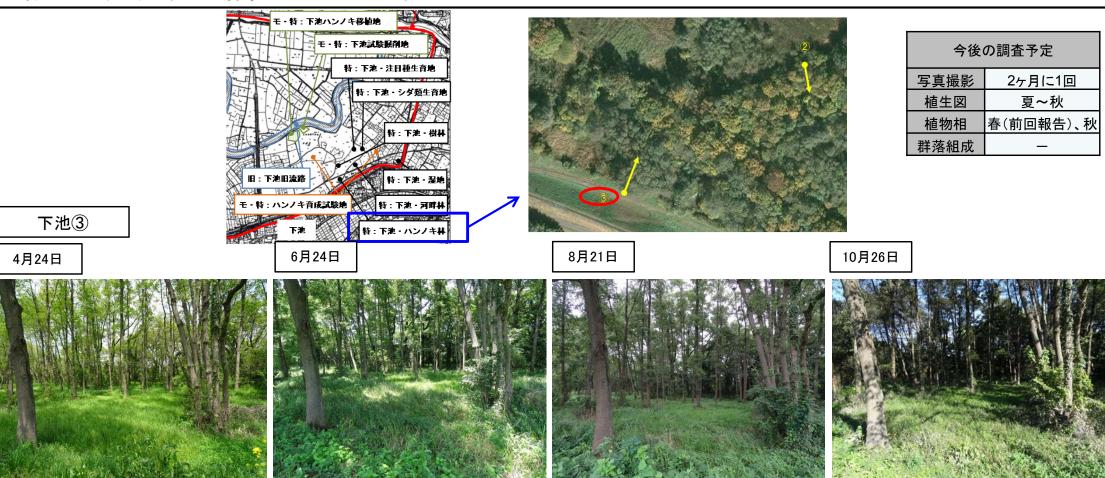
#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれの ある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種 (定着(侵入))、(定着予防外来種) その他 の定着予防外来種(定着(その他))、「総合 的に対策が必要な外来種(総合対策外来 種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点 対策外来種(総合(モの他))、「適切な管理が 必要な産業上重要な外来種(産業管理外来 種)」(産業)

外来種ハンドブック:2002 指定種 (〇)、 その他:植栽・逸出種(植逸)

### 3) 「特定の場所」の調査:下池・ハンノキ林 写真撮影



3) 「特定の場所」の調査:下池・ハンノキ林 植物 重要種・外来種【春季】

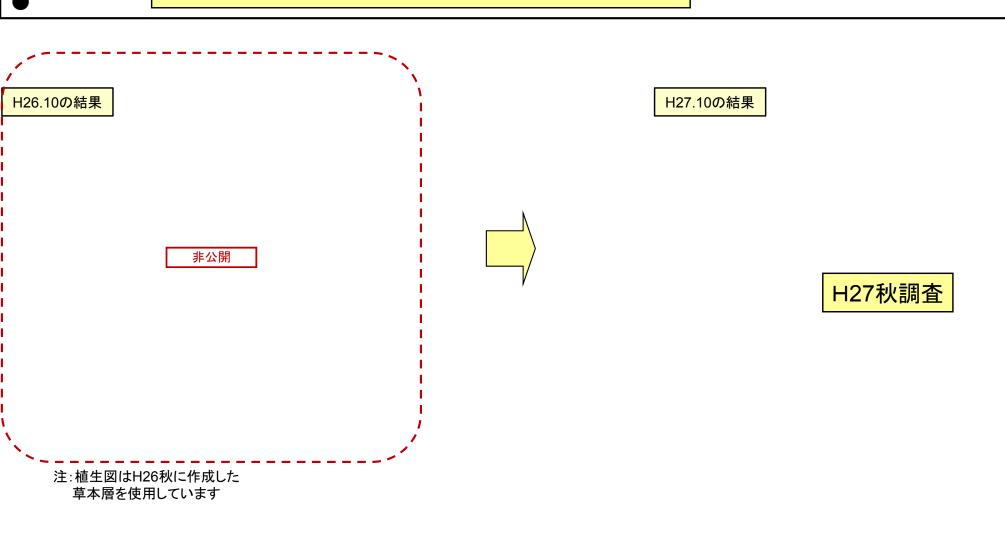
非公開

H26.5の結果 H27.5の結果 非公開

次回報告

## 3. 太郎右衛門地区全体の調査

3) 「特定の場所」の調査:下池・ハンノキ林 植物 重要種・外来種【秋季】



3) 「特定の場所」の調査:下池・ハンノキ林 植物 植物相

植物相

非公開

H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

【重要種凡例】国:2012、県:2011 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のお それがある地域個体群(LP)、地帯別危惧 (RT)

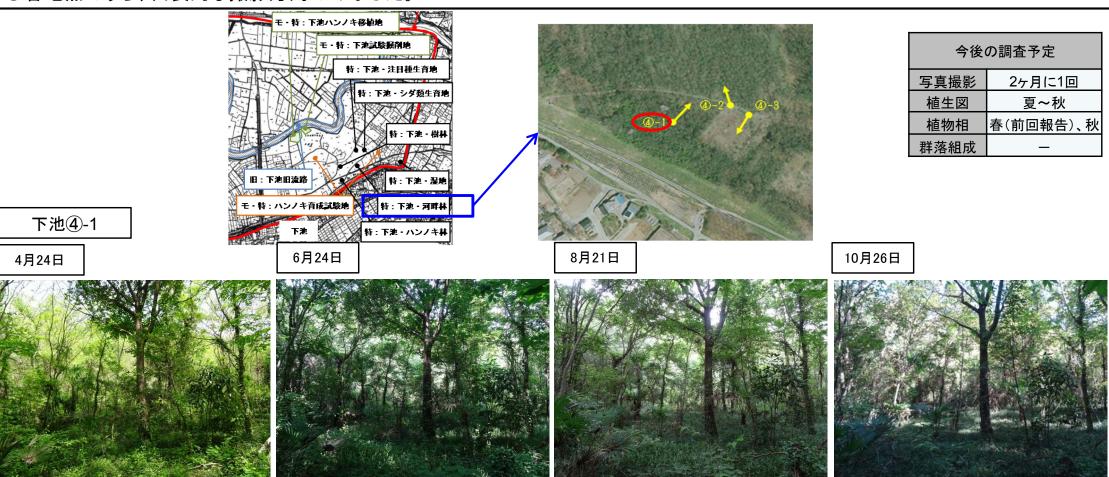
#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれの ある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種 (定着(侵入))、(定着予防外来種) その他 の定着予防外来種(定着(その他))、「総合 的に対策が必要な外来種(総合対策外来 種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点 対策外来種(総合(重点))、その他の総合対 策外来種(総合(その他))、「適切な管理が 必要な産業上重要な外来種(産業管理外来 種)」(産業)

外来種ハンドブック:2002 指定種(O)、 その他:植栽・逸出種(植逸)

### 3) 「特定の場所」の調査:下池・河畔林 写真撮影

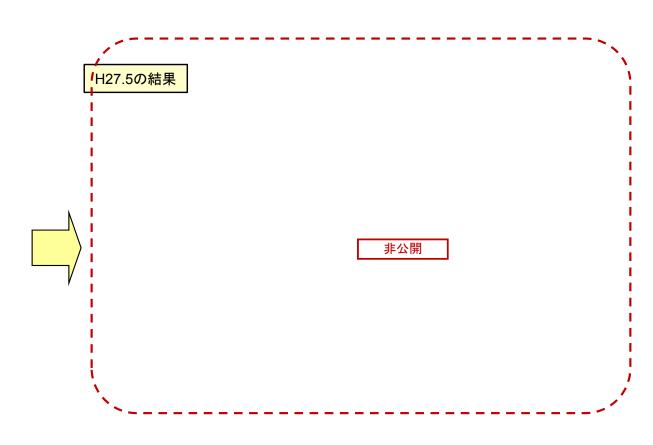


3) 「特定の場所」の調査:下池・河畔林 植物 重要種・外来種【春季】

非公開

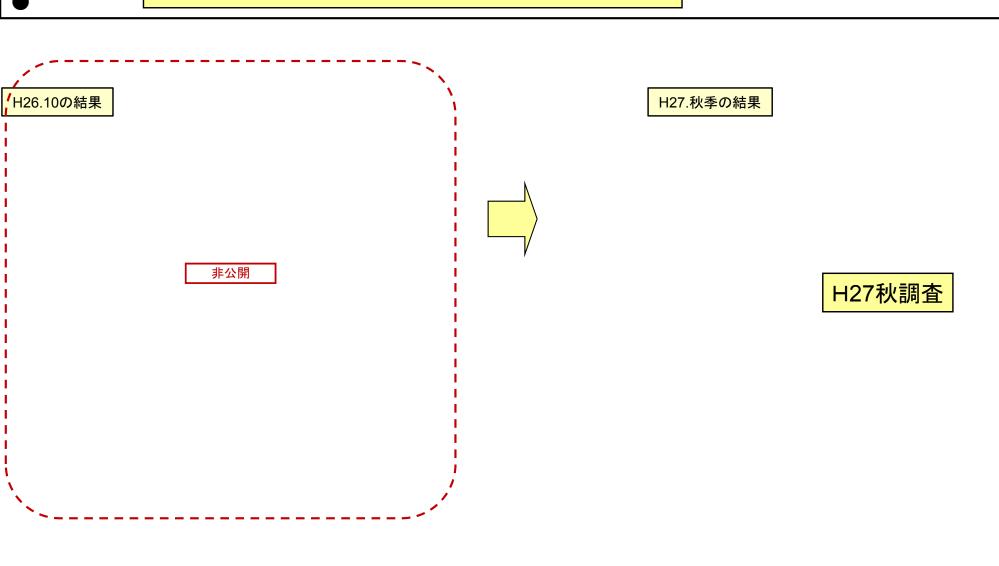
H26春季の調査実施はありませんでした

H26.5の結果



注:植生図はH26秋に作成したも のを使用しています

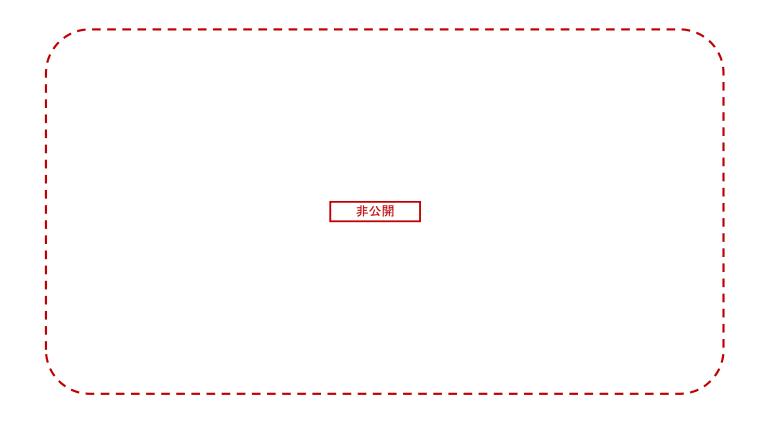
3) 「特定の場所」の調査:下池・河畔林 植物 重要種・外来種【秋季】



3) 「特定の場所」の調査:下池・河畔林 植物 植物相

非公開

植物相



【重要種凡例】国:2012、県:2011 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のお それがある地域個体群(LP)、地帯別危惧 (RT)

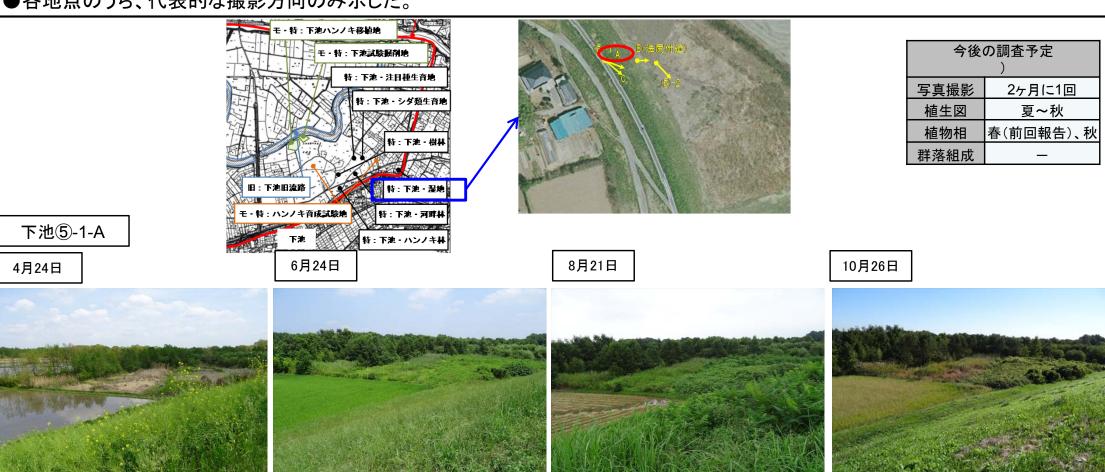
#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれの ある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種 (定着(侵入))、(定着予防外来種) その他 の定着予防外来種(定着(その他))、「総合 的に対策が必要な外来種(総合対策外来 種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点 対策外来種(総合(重点))、その他の総合対 策外来種(総合(その他))、「適切な管理が 必要な産業上重要な外来種(産業管理外来 種)」(産業)

外来種ハンドブック:2002 指定種(〇)、 その他:植栽・逸出種(植逸)

### 3) 「特定の場所」の調査:下池・湿地 写真撮影



3) 「特定の場所」の調査:下池・湿地 植物 植物相

非公開

非公開

H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

※ここは「民地」であるため、堤防上やあぜ道から確認できる範囲の情報を記録しました。

【重要種凡例】国:2012、県:2011 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のお それがある地域個体群(LP)、地帯別危惧 (RT)

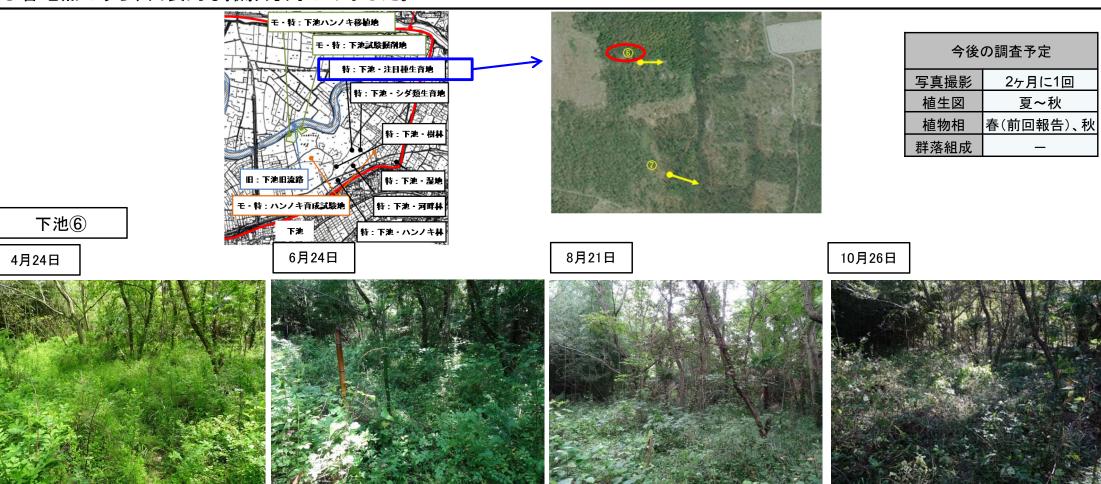
#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれの ある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種 (定着(侵入))、(定着予防外来種) その他 の定着予防外来種(定着(その他))、「総合 的に対策が必要な外来種(総合対策外来 種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点 対策外来種(総合(重点))、その他の総合対 策外来種(総合(その他))、「適切な管理が 必要な産業上重要な外来種(産業管理外来 種)」(産業)

外来種ハンドブック:2002 指定種 (〇)、 その他:植栽・逸出種(植逸)

### 3) 「特定の場所」の調査:下池・注目種生育地 写真撮影

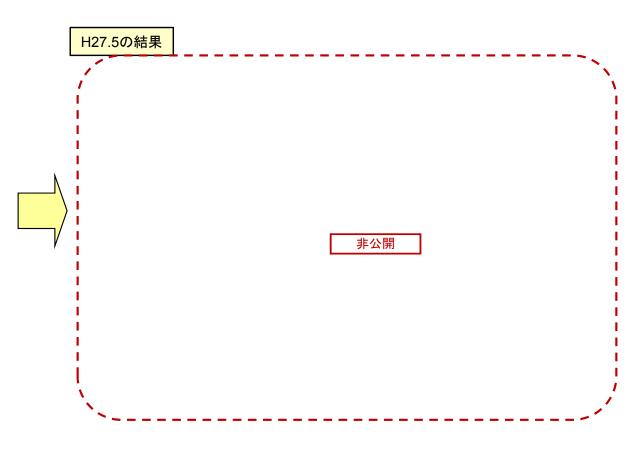


3) 「特定の場所」の調査:下池・注目種生育地 植物 重要種・外来種【春季】

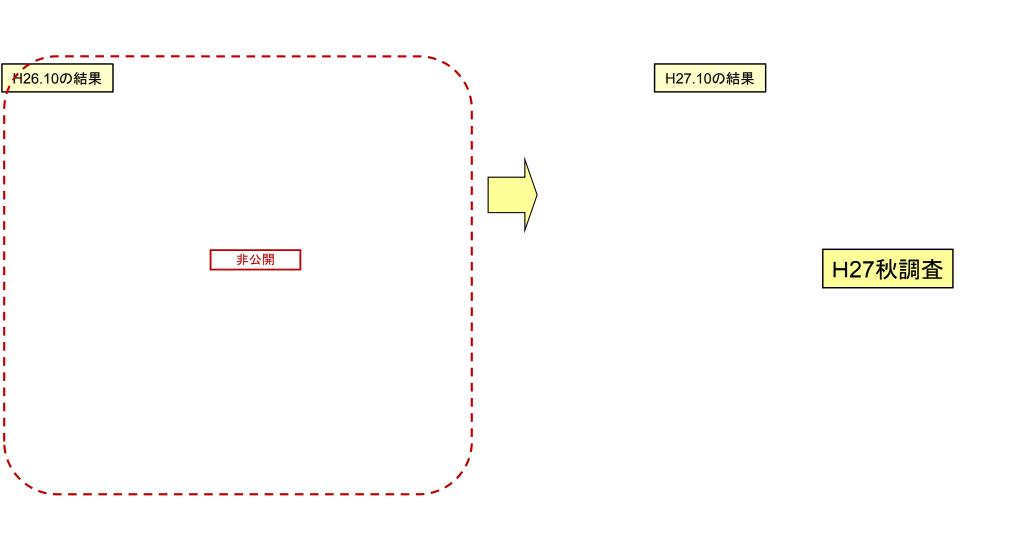
非公開

H26春季の調査実施はありませんでした

H26.5の結果



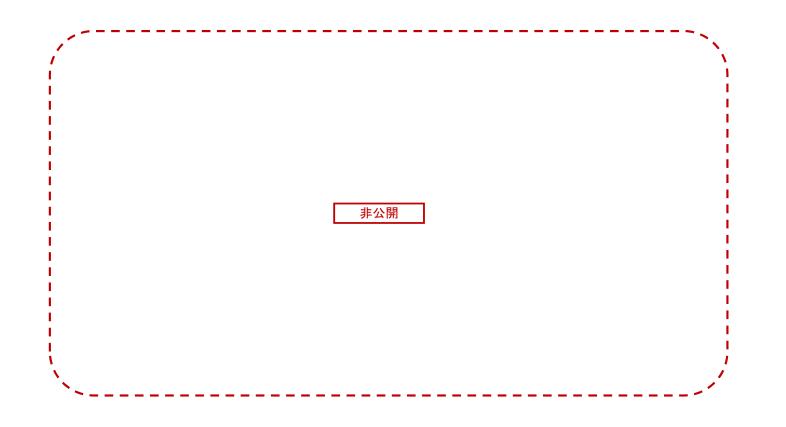
3) 「特定の場所」の調査:下池・注目種生育地 植物 重要種・外来種【秋季】



3) 「特定の場所」の調査:下池・注目種生育地 植物 植物相

非公開

植物相



【重要種凡例】国:2012、県:2011 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のお それがある地域個体群(LP)、地帯別危惧

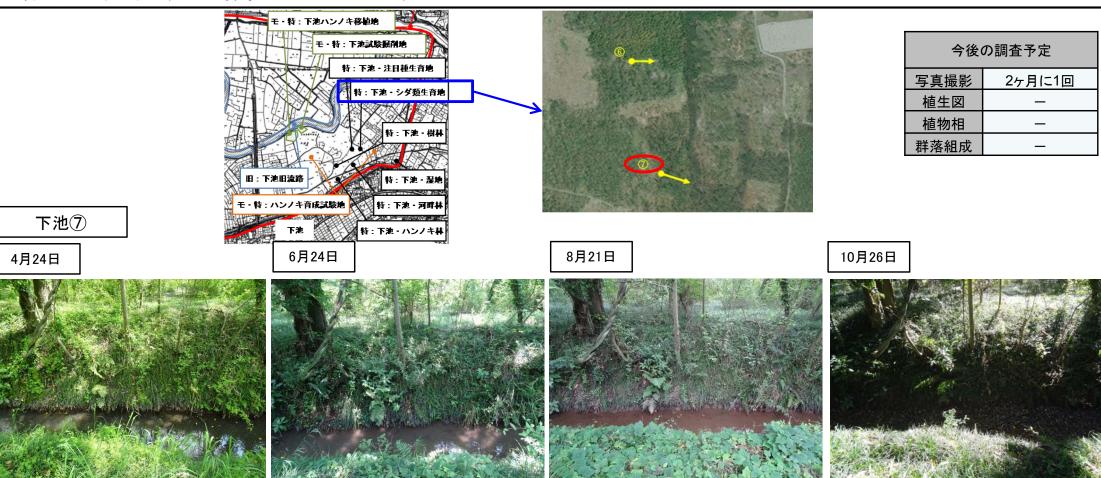
#### 【外来種凡例】

外来生物法: 2004 特定外来種(特定) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれの ある外来種リスト: 2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種 (定着(侵入))、(定着予防外来種) その他 の定着予防外来種(定着(その他))、「総合 的に対策が必要な外来種(総合対策外来 種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点 対策外来種(総合(重点))、その他の総合対 策外来種(総合(その他))、「適切な管理が 必要な産業上重要な外来種(産業管理外来 種)」(産業)

外来種ハンドブック:2002 指定種 (○)、 その他:植栽・逸出種(植逸)

### 3) 「特定の場所」の調査:下池・シダ類生育地 写真撮影



- 4)鳥類調查:確認種•重要種•特定外来種 【繁殖期】
- ●重要種はアオサギ、オオタカ、カワセミ、ウグイス、ホオジロが確認されています。
- ⇒ 全体構想の「目標種」はオオタカ、カワセミが確認されています。
- ●水辺の鳥類で水面を利用するカイツブリ、カワウ、アオサギ、カルガモが確認されています。
- ●特定外来種はガビチョウが確認されています。

目名	科名	種名	目標種	重要種	外来種
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ			
ペリカン	ウ	カワウ			
コウノトリ	サギ	ゴイサギ			
	,	アオサギ		DD(繁殖鳥)	
カモ	カモ	カルガモ		DD (SIC/SC/NG)	
タカ	タカ	オオタカ	0	国内, NT, VU(繁殖鳥・越冬鳥)	
キジ	キジ	コジュケイ		E1 71-111 10 (987)E2/10 AES C 7107	0
' -	, -	キジ			
チドリ	チドリ	コチドリ			
ハト	ハト	ドバト			
· ·		キジバト			
カッコウ	カッコウ	カッコウ			
		ホトトギス			
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	LP(繁殖鳥)	
キツツキ	キツツキ	コゲラ			
スズメ	ヒバリ	ヒバリ			
	ツバメ	ツバメ			
	セキレイ	ハクセキレイ			
		セグロセキレイ			
	ヒヨドリ	ヒヨドリ			
	モズ	モズ			
	チメドリ	ガビチョウ			特定・総合(重点)
	ウグイス	ウグイス		RT(繁殖鳥)	
		オオヨシキリ			
		セッカ			
	シジュウカラ	シジュウカラ			
	ホオジロ	ホオジロ		RT(繁殖鳥)	
	アトリ	カワラヒワ			
	ハタオリドリ	スズメ			
	ムクドリ	ムクドリ			
	カラス	ハシボソガラス			
		ハシブトガラス			
12目	24科	32種	2種	5種	2種

非公開

※ 種名は河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成26年度生物リスト(河川環境データベース 国土交通省 ※ 種名の色はそれぞれ水辺、草地、樹林、<mark>裸地</mark>の生息環境を示す。

【重要種凡例】国:2012、県:2011

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類(CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種) その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種(総合対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業) 外来種ハンドブック:2002 指定種(〇)、その他:家禽

カイツブリ(雛)

### 5) 昆虫類調査:確認種・重要種・特定外来種 【初夏季・夏季】

非公開

目標種と同じ科に属するギンヤンマ、アメンボ、ヒメアメンボなどの水辺の昆虫が確認さ

れています。

目標種と同じ科に属するエンマコオロギ、ベニシジミなどの草地の昆虫が確認され

ています。

⇒ 全体構想の「目標種」ではミドリシジミが確認されています。

#### 全体構想の「目標種」と同じ科に属する種

非公開

No.	目名	科名	種名	目標種	重要種	外来種
1	トンボ	ヤンマ	ギンヤンマ			
2	バッタ	コオロギ	エンマコオロギ			
3	カメムシ	アメンボ	アメンボ			
4			ヒメアメンボ			
5	チョウ	シジミチョウ	ムラサキシジミ			
6			ルリシジミ			
7			ウラギンシジミ			
8			ツバメシジミ			
9			ベニシジミ			
10			ミドリシジミ	0	県NT1	
11			ゴイシシジミ			
12			ヤマトシジミ本土亜種			
13	コウチュウ	ホタル	オバボタル			
	5日	5科	13種	1種	1種	0種

非公開

【重要種凡例】国:2012、県:2011

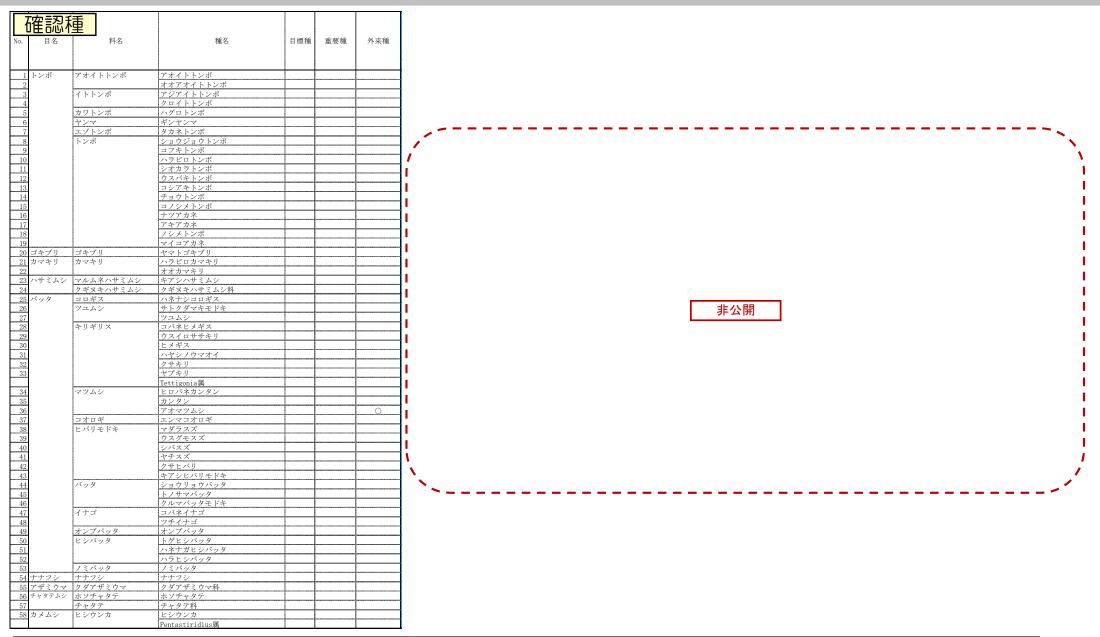
準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)

#### 【外来種凡例】

|外来生物法:2004 特定外来種(特定)、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015、 |「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)」重点対策外来種(総合(重点))、

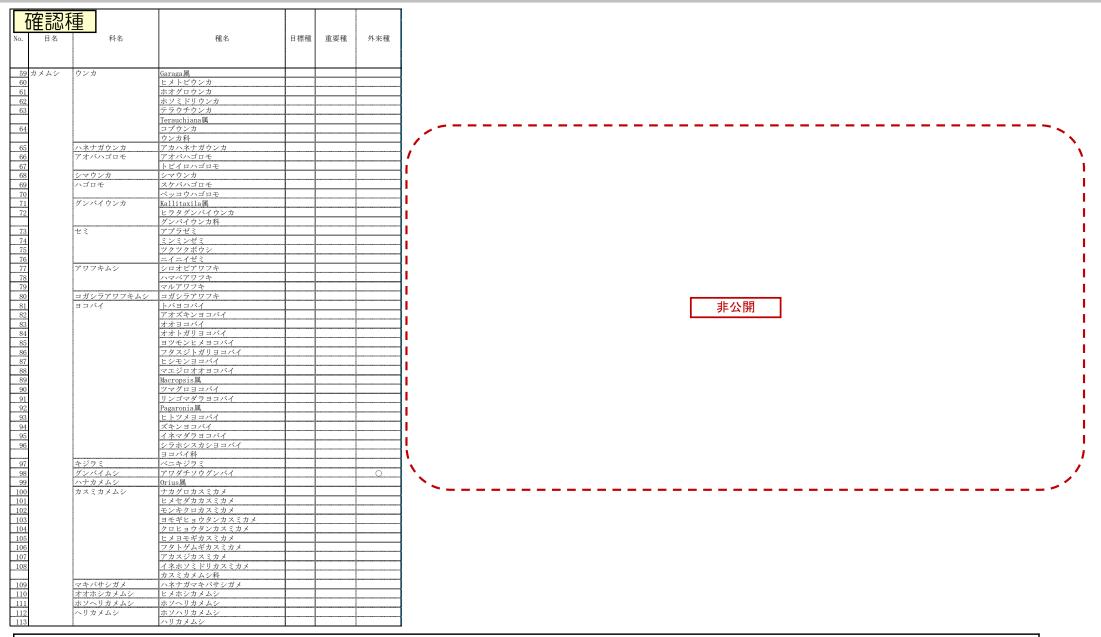
|外来種ハンドブック:2002 指定種(O)

### 5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】1/9



【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

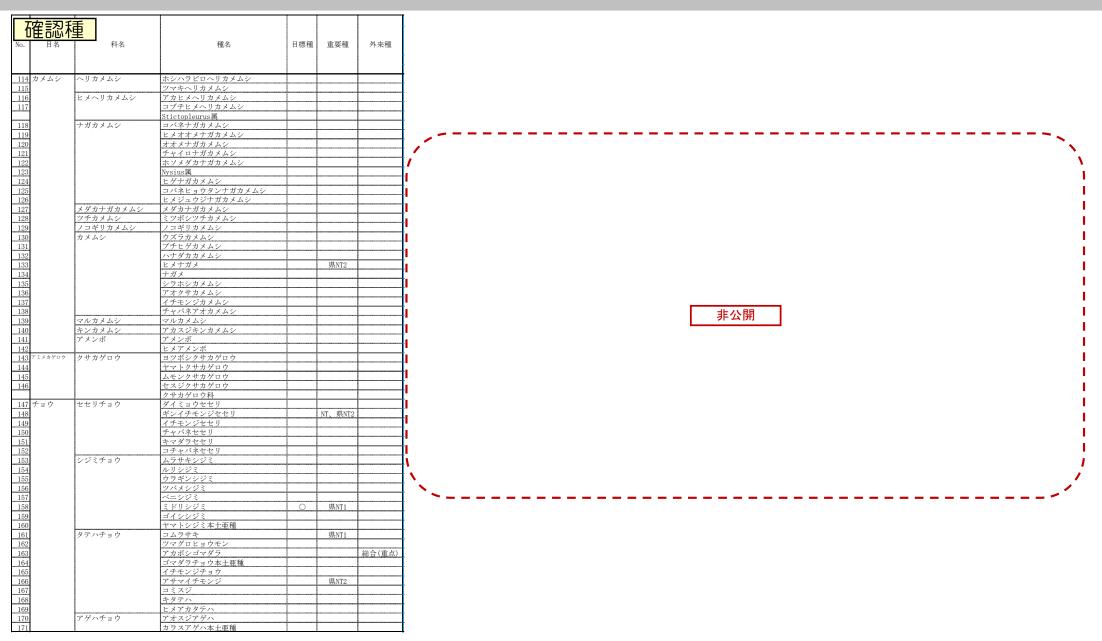
### 5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】2/9



【重要種凡例】国:2012、県:2011 準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)

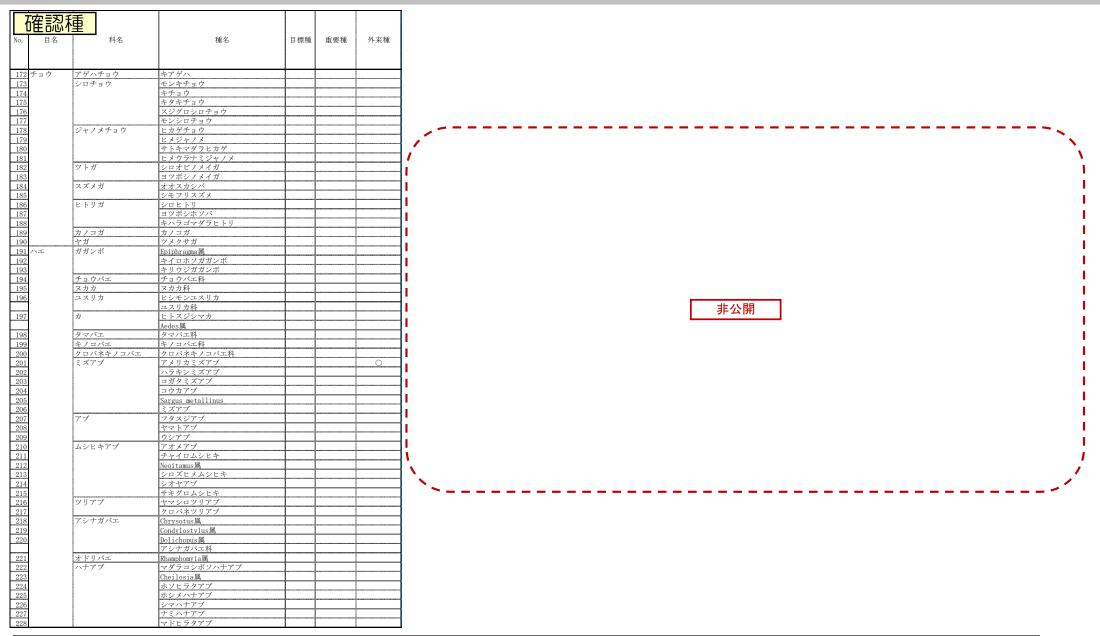
【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】3/9



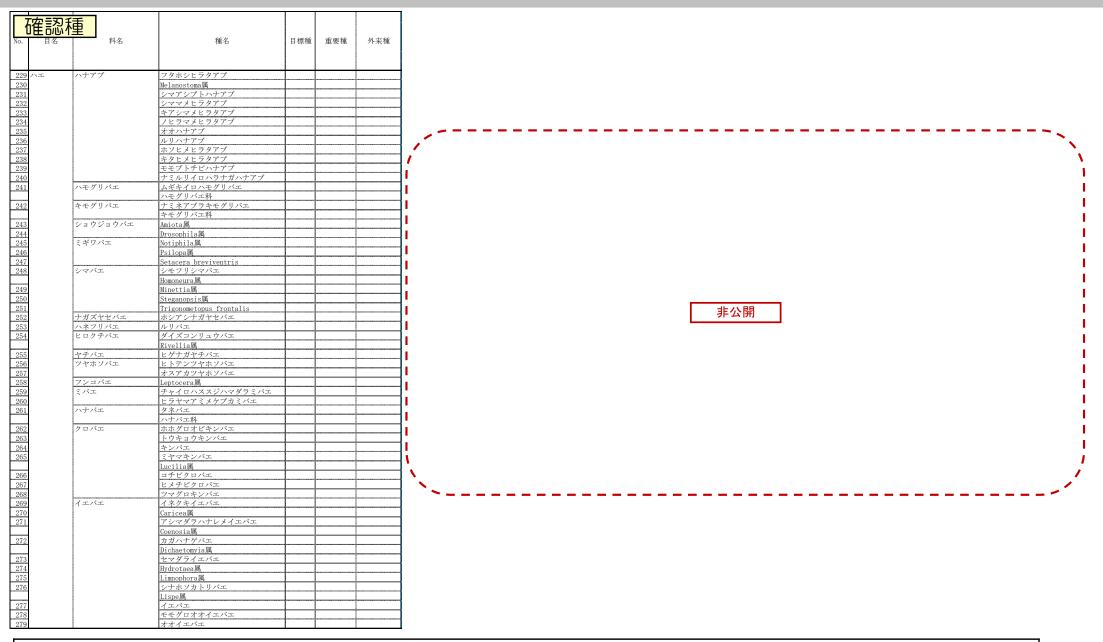
【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】4/9



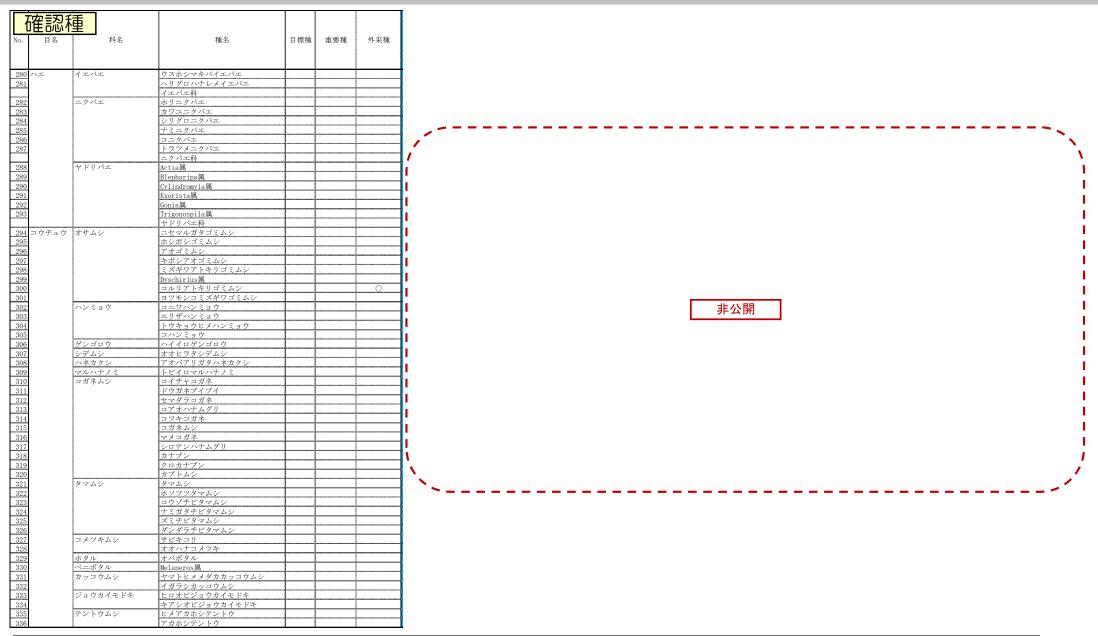
【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

### 5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】5/9



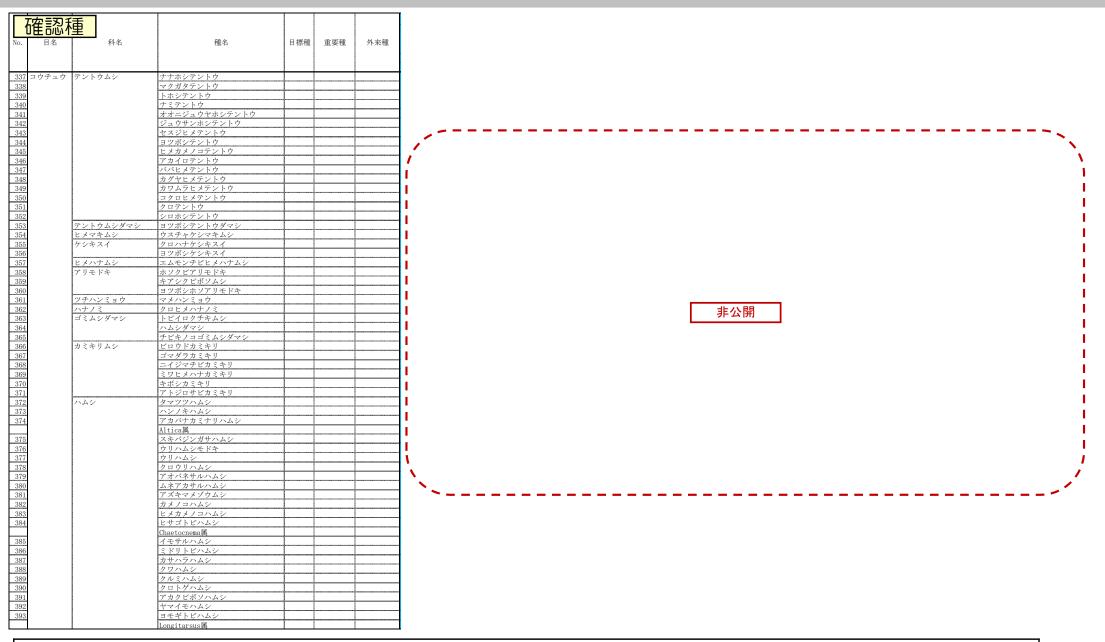
【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】6/9



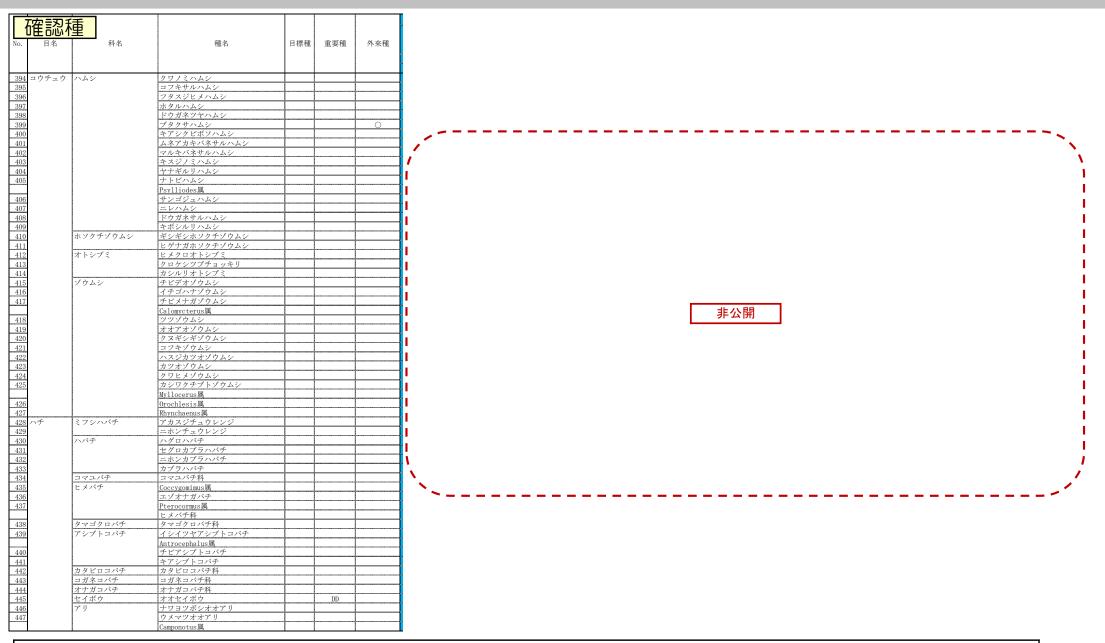
【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】7/9



【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

### 5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】8/9

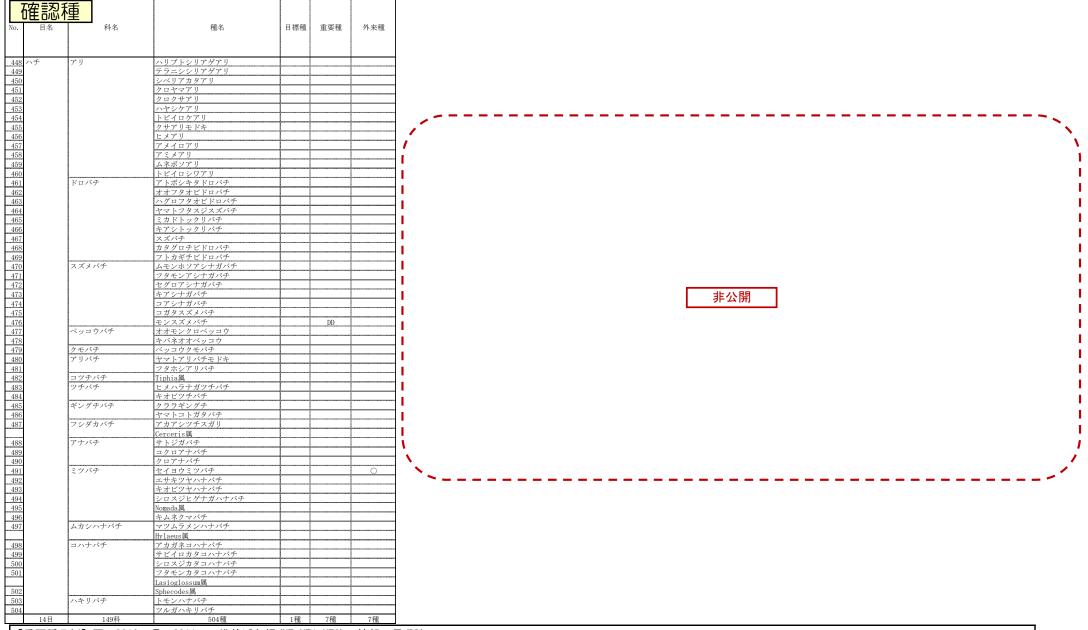


【重要種凡例】国:2012、県:2011 準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)

【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト: 2015、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)」重点対策外来種(総合(重点))、外来種ハンドブック: 2002 指定種 (〇)

### 5) 昆虫類調査:確認種 【初夏季・夏季】9/9



【重要種凡例】国:2012、県:2011 準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)

【外来種凡例】外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)」重点対策外来種(総合(重点))、外来種ハンドブック:2002 指定種(〇)

### 3. 太郎右衛門地区全体の調査



6) 両生類・爬虫類・哺乳類調査(試行):確認種・重要種・特定外来種 【初夏季】

●シュレーゲルアオガエル: 6月に地区内の水田利用地付近などを踏査しましたが、姿・鳴き声とも確認されませんでした。

●哺乳類 : 6月中旬~8月上旬にかけて、昨年度にアライグマの利用が確認された下池において、5箇所に自動撮影カメラを設置しました。結果、アライグマだけでなく、タヌキ、イタチ、ノウサギが確認されました。



アライグマ



イタチ



タヌキ



ノウサギ

## 3. 太郎右衛門地区全体の調査

7) 「下池野火跡地」の調査:下池・野火跡地 植物 重要種・特定外来種

非公開

H27.5の結果 非公開 セイタカアワダチソウ もとの優占種 オオブタクサ トウグワ

H27.10の結果

H27秋に植物相・植生図作成・群落組成調査を実施済み。 現在とりまとめをしております。





# 3. 太郎右衛門地区全体の調査

### 7) 「下池野火跡地」の調査:下池・野火跡地 植物 重要種・特定外来種

オギ生育地



オオブタクサ生育地



セイタカアワダチソウ生育地



カナムグラ生育地



### 7) 「下池野火跡地」の調査:下池・野火跡地 植物 植物相

非公開

H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

植物相 非公開

【重要種凡例】国:2012、県:2011

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

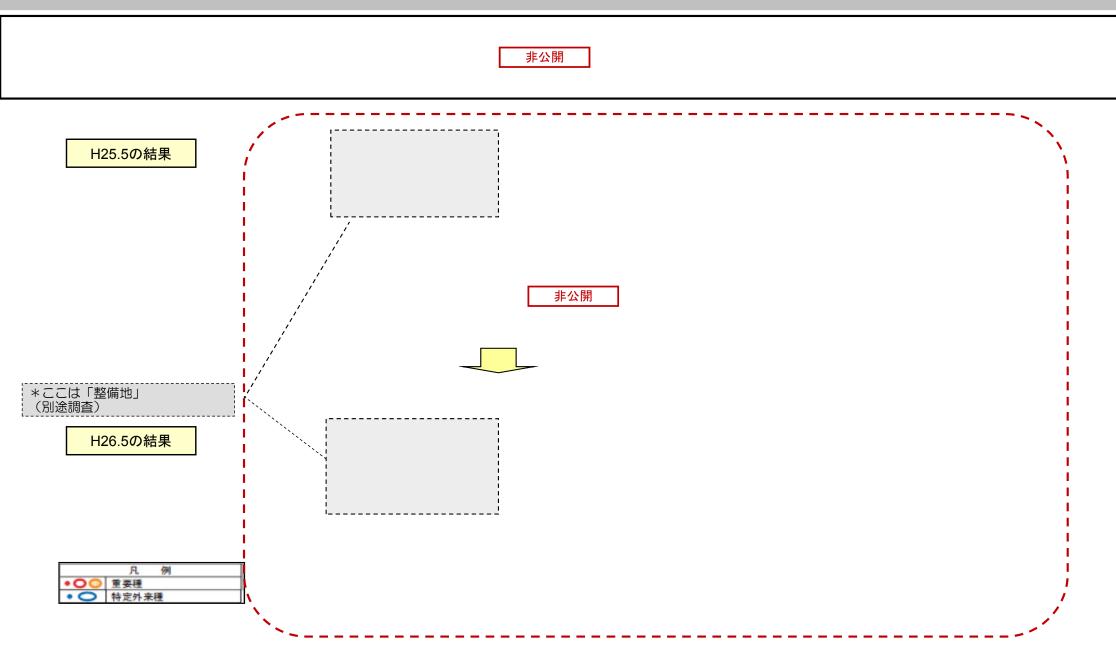
外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

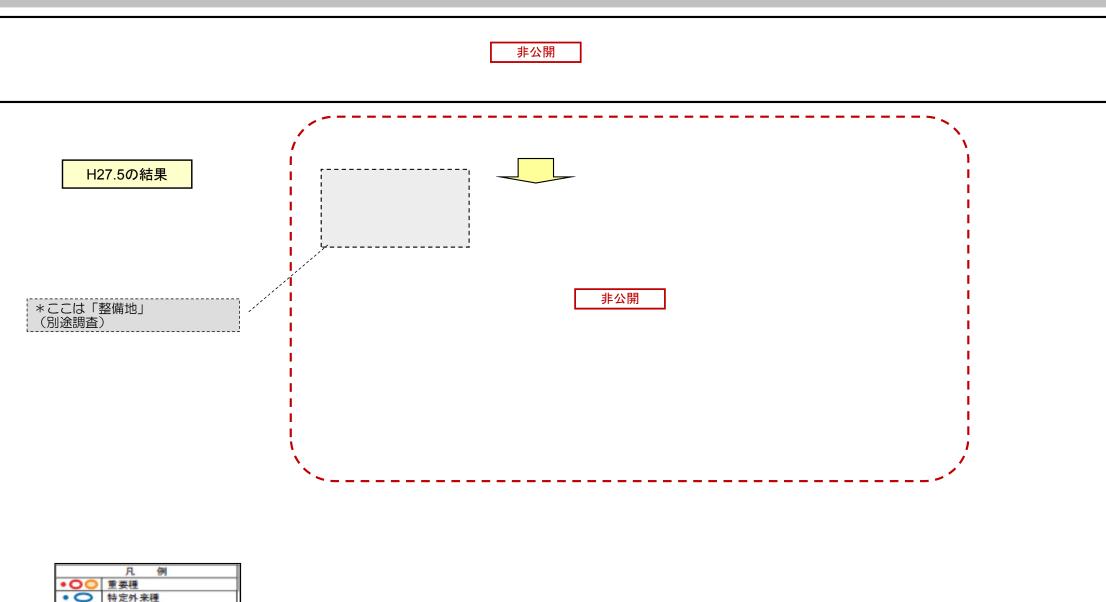
「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種)その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策 が必要な外来種(総合対策外来種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その 他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)

「外来種ハンドブック:2002 指定種(○)、その他:植栽・逸出種(植逸)

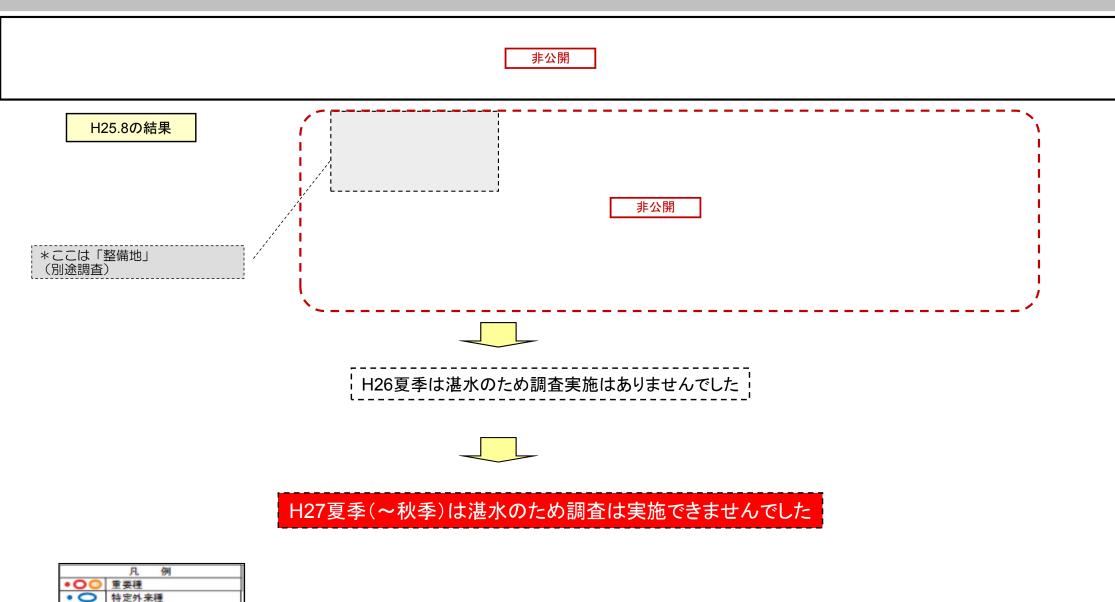
1)上池 • 旧流路(保全範囲):植物 重要種 • 外来種【春季】



1)上池 • 旧流路(保全範囲):植物 重要種 • 外来種【春季】



1)上池 • 旧流路(保全範囲):植物 重要種 • 外来種【夏季】



1)上池 • 旧流路(保全範囲):植物 植物相

非公開

植物相



【重要種凡例】国:2012、県:2011 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT,NT1,NT2)、情報不足(DD)、絶滅のお それがある地域個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

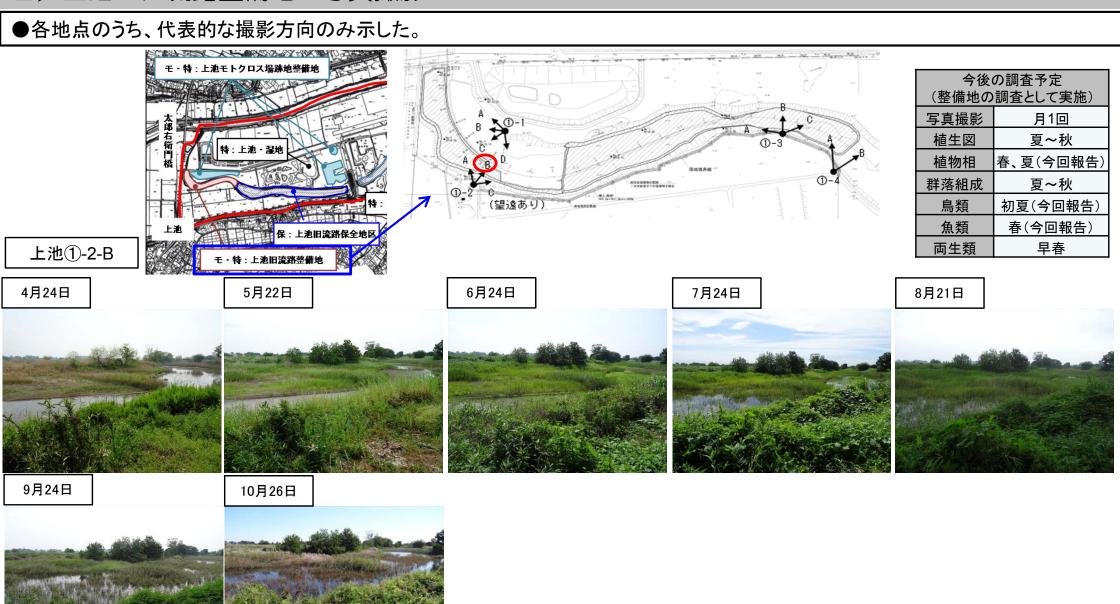
#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれの ある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種 (定着(侵入))、(定着予防外来種) その他 の定着予防外来種(定着(その他))、「総合 的に対策が必要な外来種(総合対策外来 種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点 対策外来種(総合(重点))、その他の総合対 策外来種(総合(その他))、「適切な管理が 必要な産業上重要な外来種(産業管理外来 種)」(産業)

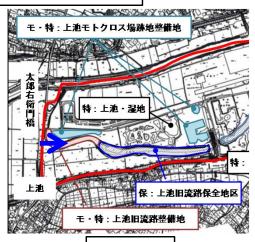
外来種ハンドブック:2002 指定種(O)、 その他:植栽・逸出種(植逸)

### 2)上池 • 旧流路整備地:写真撮影



### 2)上池 • 旧流路整備地:写真撮影

### 参考:太郎右衛門橋から撮影



4月24日 5月22日 6月24日 7月24日

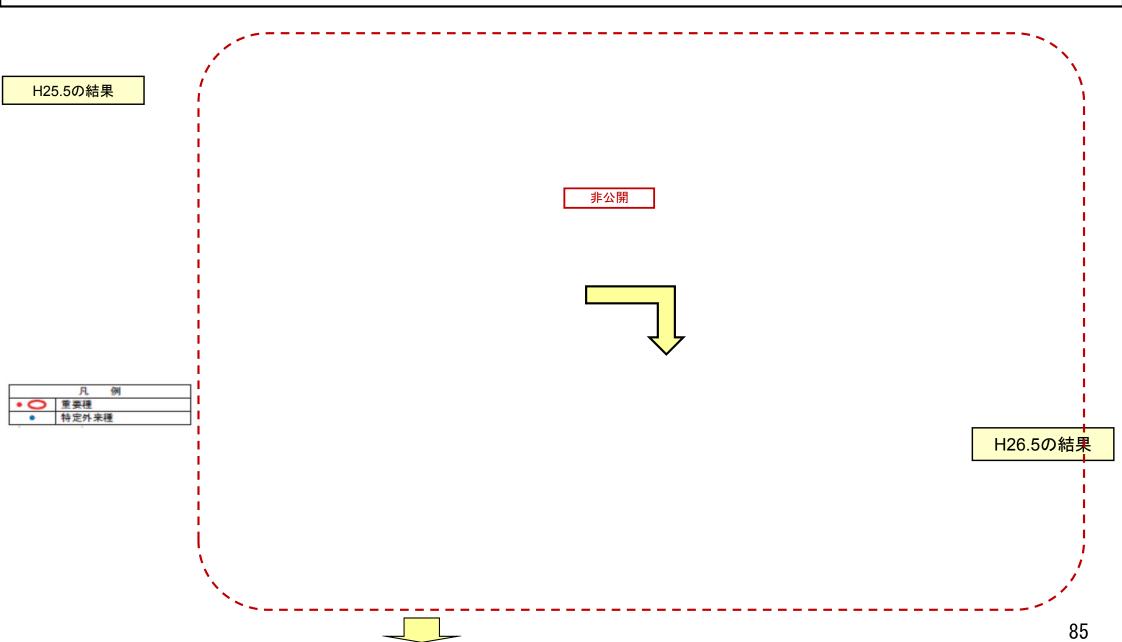




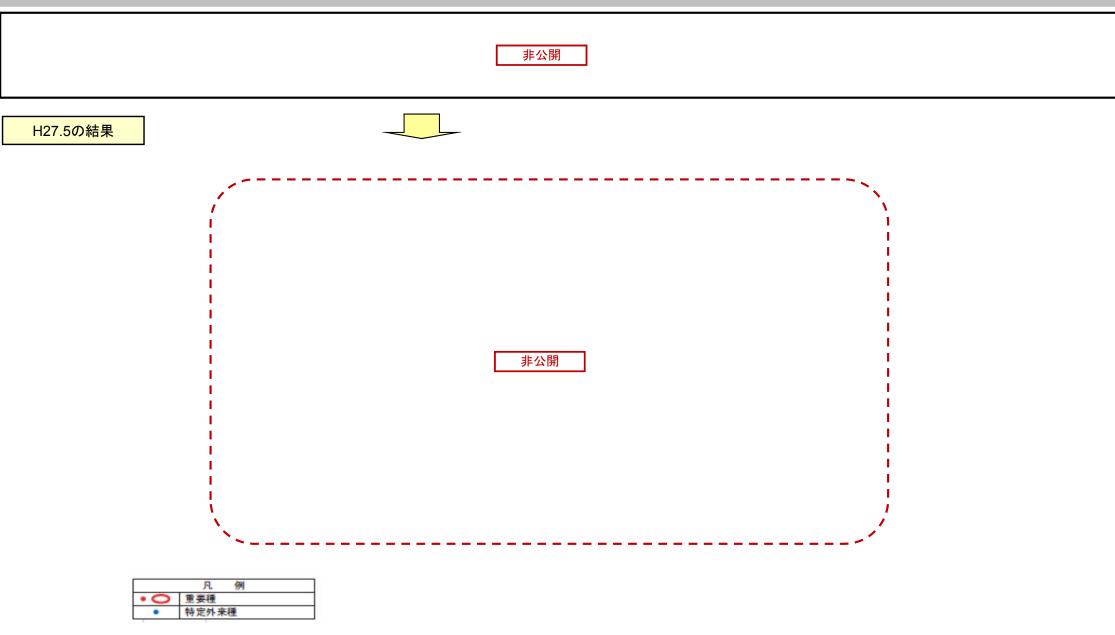




- 2)上池 旧流路整備地:植物 重要種 外来種【春季】
- ●旧流路整備地は、開放水面の形成を目的として掘削された場所です。

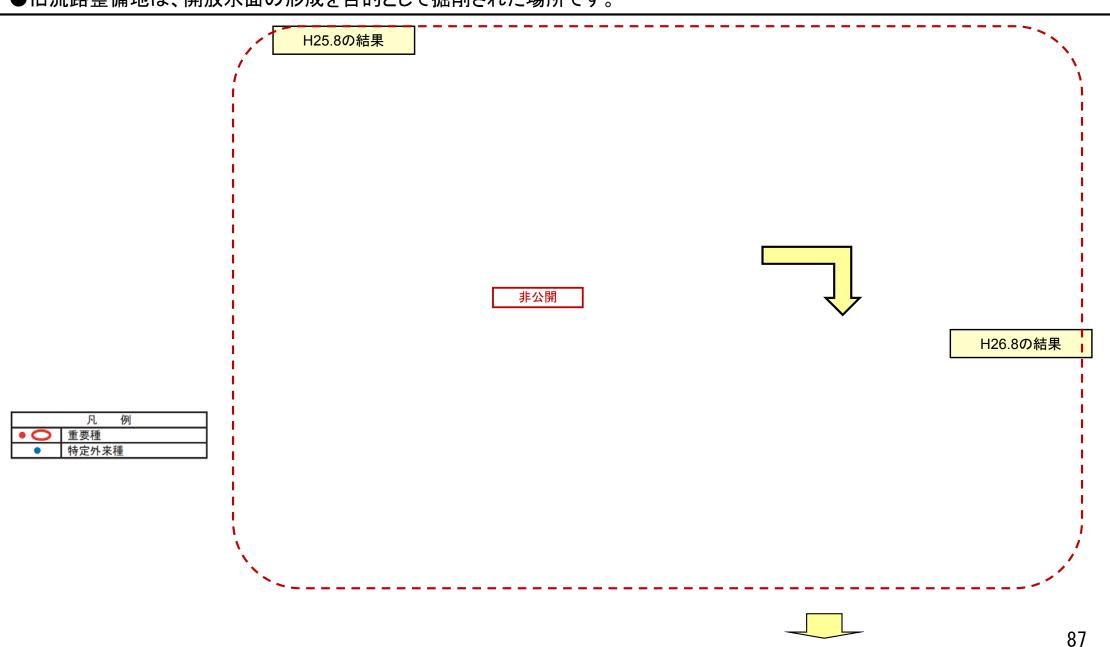


2)上池 • 旧流路整備地:植物 重要種 • 外来種【春季】



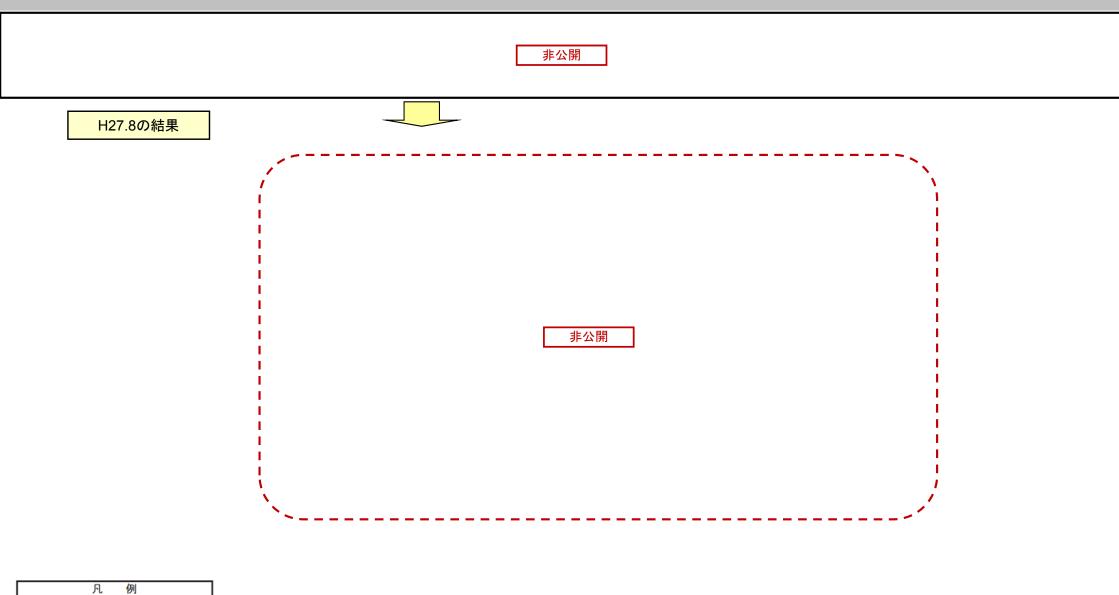
今回報告

- 2)上池 旧流路整備地:植物 重要種 外来種【夏季】
- ●旧流路整備地は、開放水面の形成を目的として掘削された場所です。



2)上池 • 旧流路整備地:植物 重要種 • 外来種【夏季】

重要種 特定外来種



### 2)上池 • 旧流路整備地:植物 確認種【春 • 夏季】

非公開



【重要種凡例】国:2012、県:2011

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類(CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT,NT1,NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種) その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)

外来種ハンドブック: 2002 指定種(O)、その他: 植栽・逸出種(植逸)

2)上池 • 旧流路整備地:植物 植生図



H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

2)上池 • 旧流路整備地:植物 群落組成

H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

2)上池 • 旧流路整備地:鳥類 確認種

非公開



【重要種凡例】国:2012、県:2011

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域 個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種)その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種(総合対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)外来種ハンドブック:2002 指定種(〇)、その他:家禽

2)上池 • 旧流路整備地:魚類 確認種

非公開

非公開

【重要種凡例】国:2013、県:2008

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類(CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域 個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト: 2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、 (定着予防外来種) その他の定着予防外来種(定着(その他))、 「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)」緊急対 策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その 他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な 産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)

外来種ハンドブック: 2002 指定種(O)、その他: 国内移入種(国内)

2)上池・旧流路整備地:アカガエル類の産卵状況

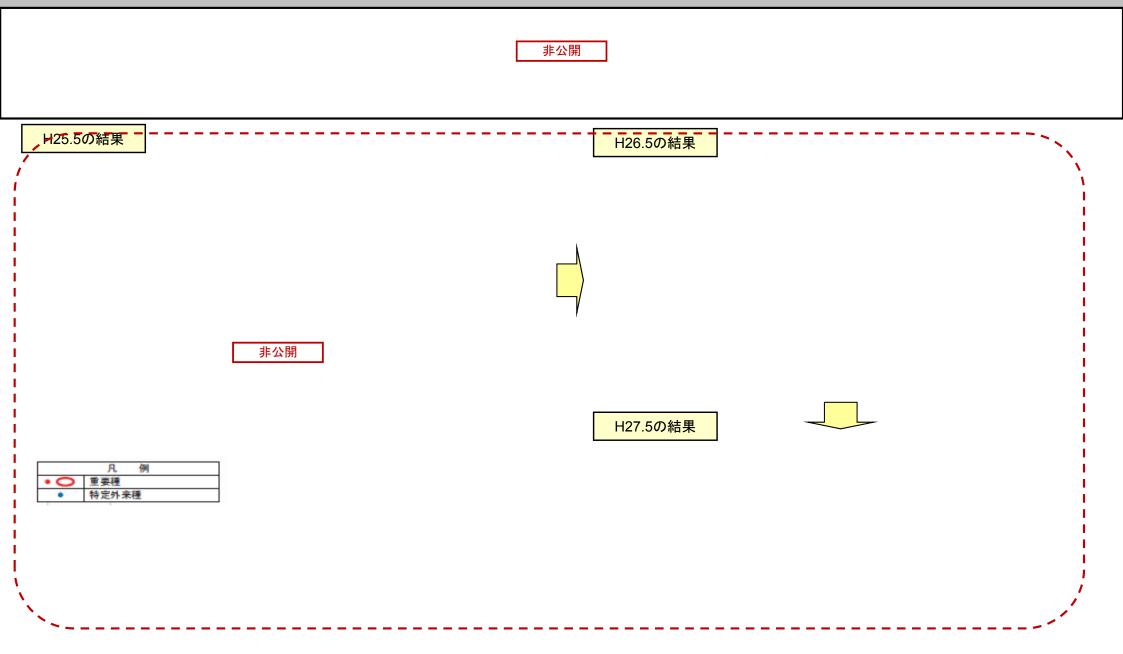
### 3)上池・モトクロス場跡地整備地A H23整備:写真撮影

●各地点のうち、代表的な撮影方向のみ示した。



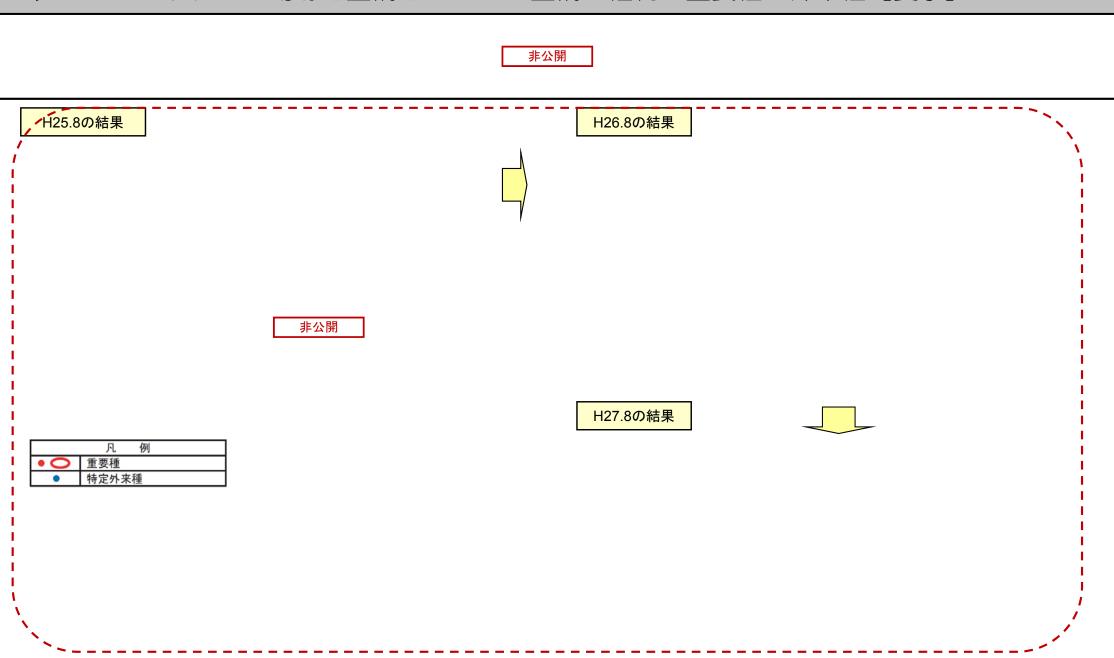
斜面部はオギ等、底面部はヨシ等が生育している。

3)上池・モトクロス場跡地整備地A H23整備:植物 重要種・外来種【春季】



今回報告

3)上池・モトクロス場跡地整備地A H23整備:植物 重要種・外来種【夏季】



3) 上池・モトクロス場跡地整備地A H23整備:植物 植生図

H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

次回報告

3)上池・モトクロス場跡地整備地A H23整備:植物 群落組成

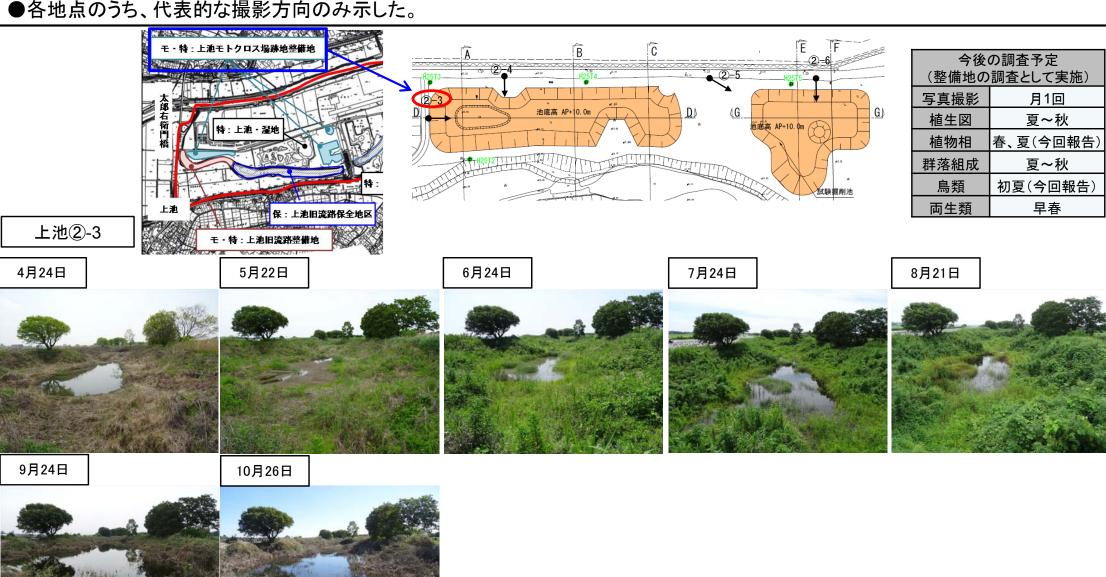


H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

今回報告

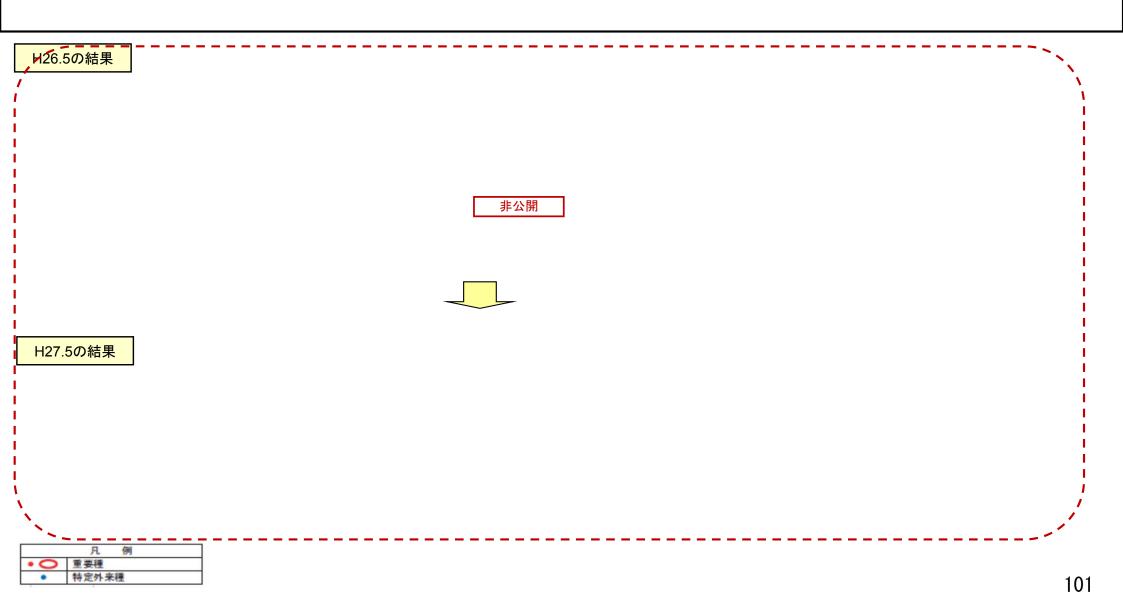
### 3)上池・モトクロス場跡地整備地A H25整備:写真撮影

●各地点のうち、代表的な撮影方向のみ示した。



3)上池・モトクロス場跡地整備地A H25整備:植物 重要種・外来種【春季】

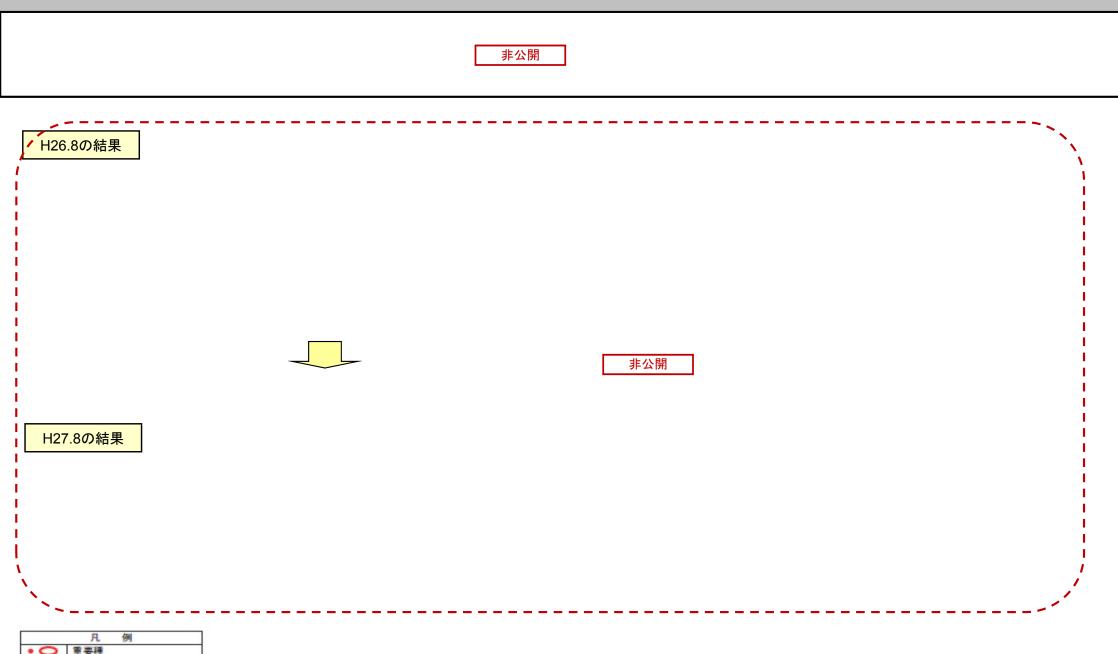
非公開



今回報告

3)上池・モトクロス場跡地整備地A H25整備:植物 重要種・外来種【夏季】

特定外来種



3) 上池・モトクロス場跡地整備地A H25整備:植物 植生図

H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

3)上池・モトクロス場跡地整備地A H25整備:植物 群落組成

H27秋調査実施済み。現在とりまとめをしております。

今回報告

3)上池・モトクロス場跡地整備地A H23・25整備:植物 確認種【春・夏季】

非公開

植物相

非公開

既存部はH23整備 拡張部はH25整備

【重要種凡例】国:2012、県:2011

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類(CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT,NT1,NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定)

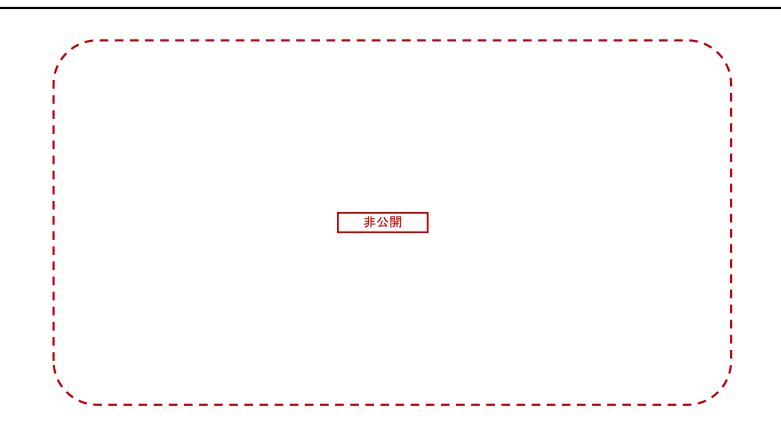
我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種) その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)

外来種ハンドブック: 2002 指定種(O)、その他:植栽・逸出種(植逸)

3)上池・モトクロス場跡地整備地A H23・H25整備:鳥類 確認種

非公開



【重要種凡例】国:2012、県:2011

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域 個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種)その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種(総合対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)外来種ハンドブック:2002 指定種(〇)、その他:家禽

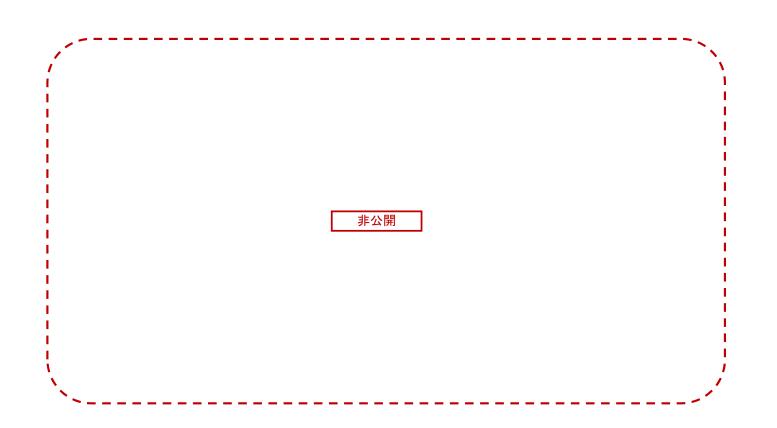
次回報告

3)上池・モトクロス場跡地整備地A H23・H25整備:アカガエル類の産卵状況

次回報告

3) 上池・モトクロス場跡地整備地A H23・H25整備: <sup>非公開</sup>

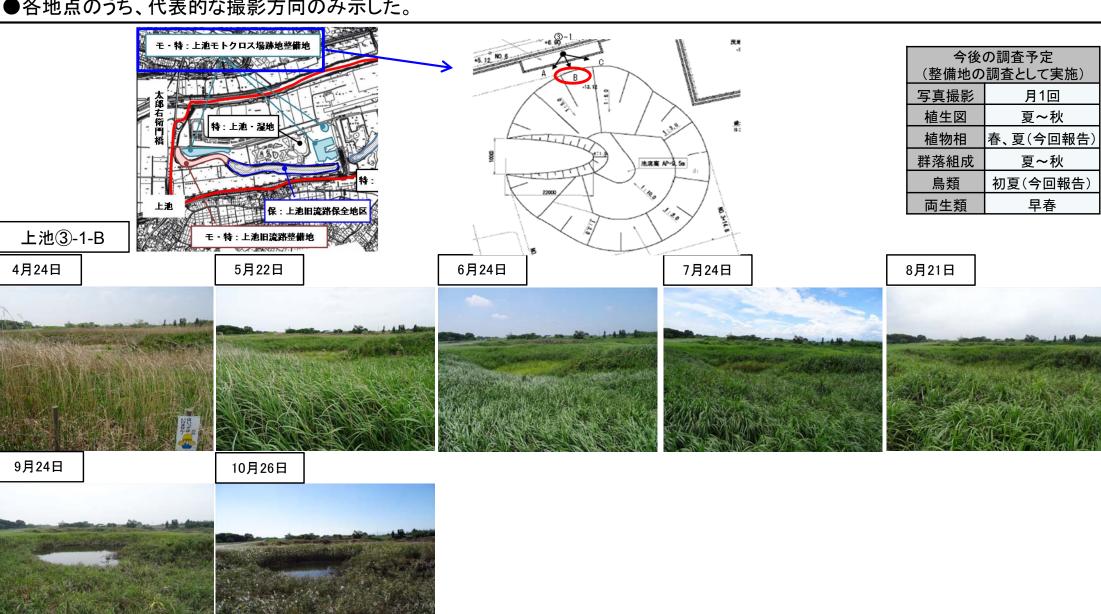
※ トピックス非公開



#### 4)上池・モトクロス場跡地整備地D H23整備:写真撮影

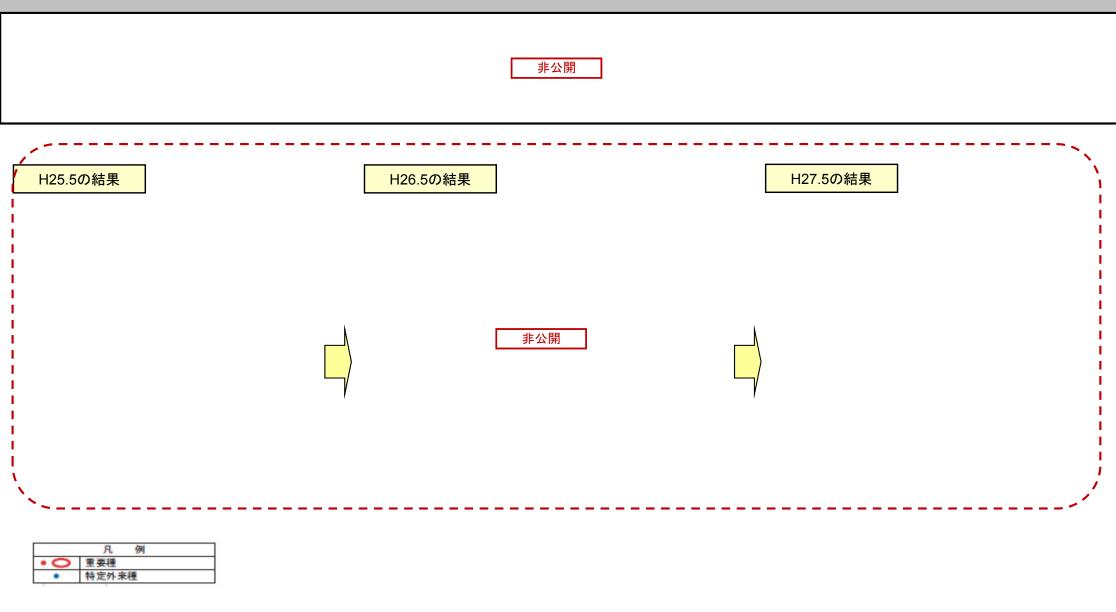
斜面部はオギ等、底面部はヨシ等が生育している。

●各地点のうち、代表的な撮影方向のみ示した。



前回報告

4)上池・モトクロス場跡地整備地D H23整備:植物 重要種・外来種【春季】



※ここは外来種除去の 管理を試行しています。

今回報告

4) 上池・モトクロス場跡地整備地D H23整備:植物 重要種・外来種【夏季】

非公開 **H25.8の結果** H26.8の結果 H27.8の結果 非公開

凡 例

■ 重要種
 特定外来種

4) 上池・モトクロス場跡地整備地D H23整備:植物 植生図



4) 上池・モトクロス場跡地整備地D H23整備:植物 群落組成

#### 4)上池・モトクロス場跡地整備地D H25-26整備:写真撮影

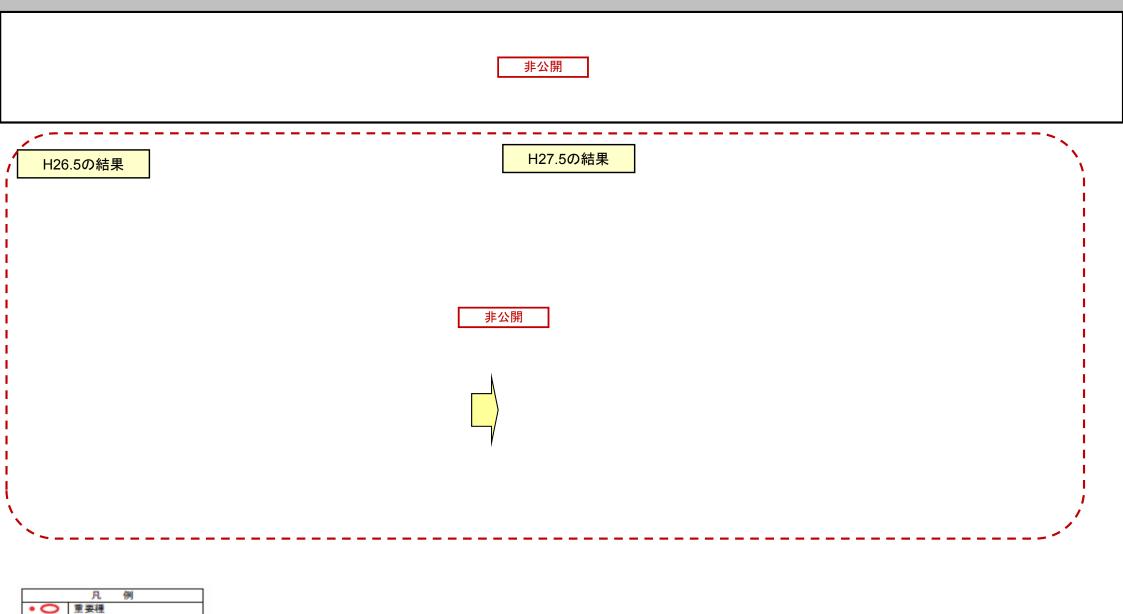
●各地点のうち、代表的な撮影方向のみ示した。



斜面部はオギ等、底面部はおおむね裸地である(夏以降は水面下)。

前回報告

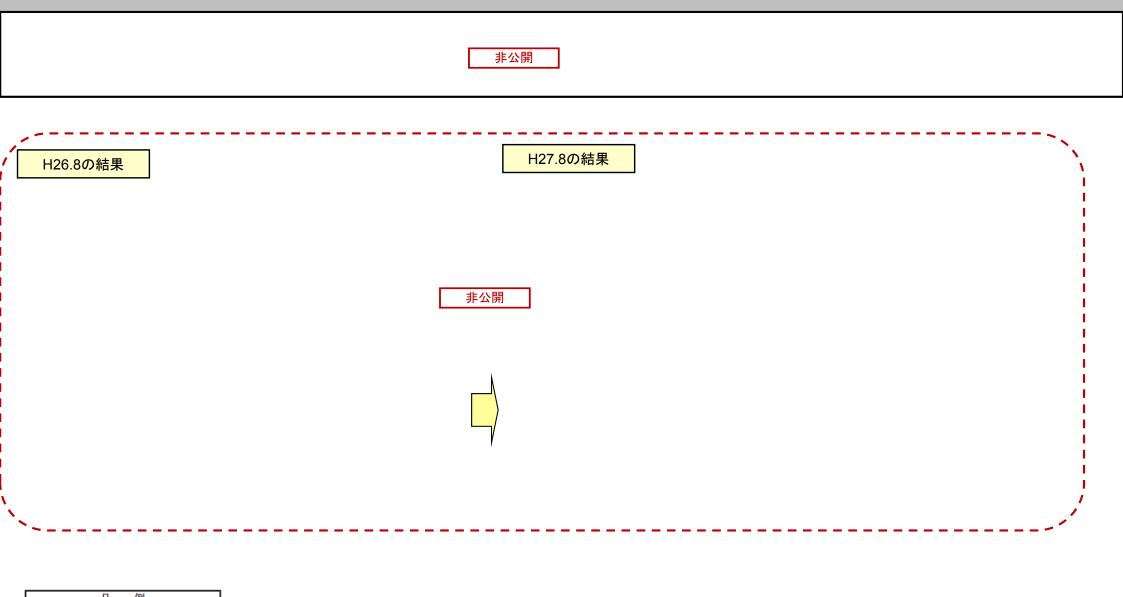
4)上池・モトクロス場跡地整備地D H25-26整備:植物 重要種・外来種【春季】



特定外来種

今回報告

4)上池・モトクロス場跡地整備地D H25-26整備:植物 重要種・外来種【夏季】



重要種 特定外来種 4) 上池・モトクロス場跡地整備地D H25整備:植物 植生図

4) 上池・モトクロス場跡地整備地D H25整備:植物 群落組成

今回報告

4)上池・モトクロス場跡地整備地D H23・25-26整備:植物 確認種【春・夏季】

非公開

植物相 非公開 既存部はH23整備 拡張部はH25-26整備

【重要種凡例】国:2012、県:2011

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類(CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 I 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

|外来生物法:2004 特定外来種(特定)

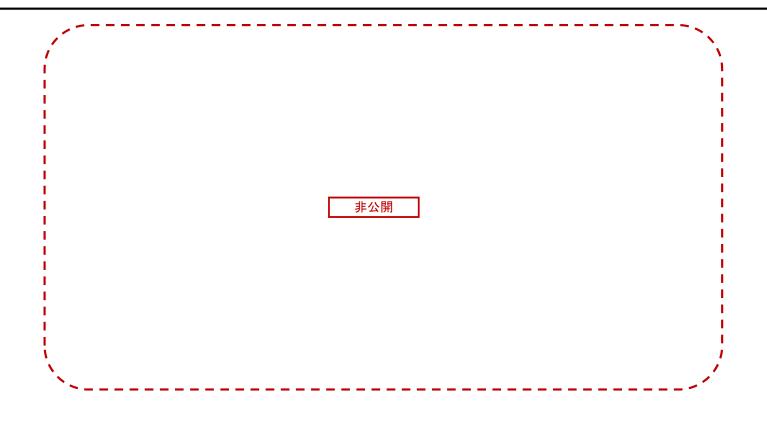
我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種) その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)

外来種ハンドブック:2002 指定種(O)、その他:植栽・逸出種(植逸)

4)上池・モトクロス場跡地整備地D H23・H25整備:鳥類 確認種

非公開



【重要種凡例】国:2012、県:2011

|絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域 |個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定)

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種)その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種(総合対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)外来種ハンドブック:2002 指定種(〇)、その他:家禽

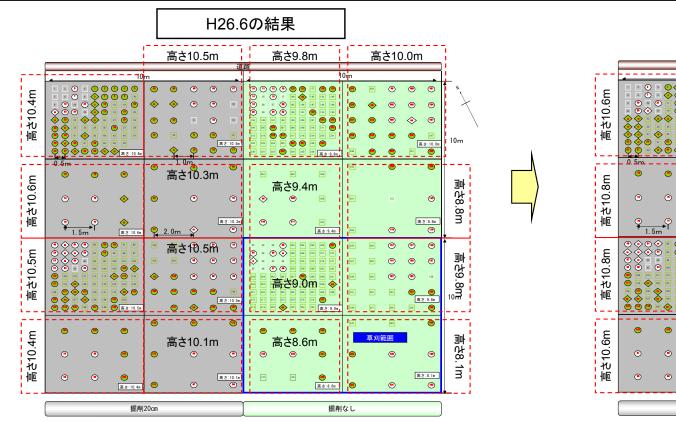
次回報告

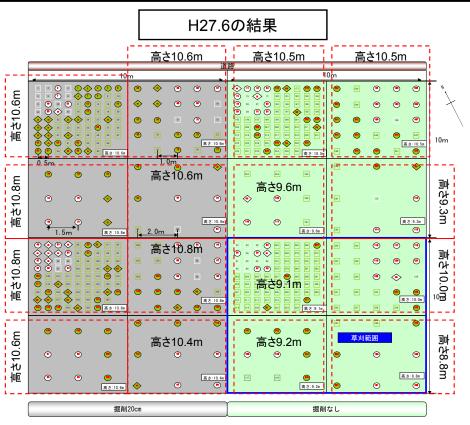
4)上池・モトクロス場跡地整備地D H23・H25整備:アカガエル類の産卵状況



#### 5) 下池・ハンノキ育成試験地:試験地②のハンノキ・ミドリシジミ

- ●ハンノキはH26年6月からの生育状態については大きな変化は認められませんでした。
- ●高さは掘削りで0.2m程度、掘削無しで0.4m程度、全体で0.3m程度高くなっています。
- ●ミドリシジミ調査は、H27年6月18・19日に実施し、8個体確認されました。





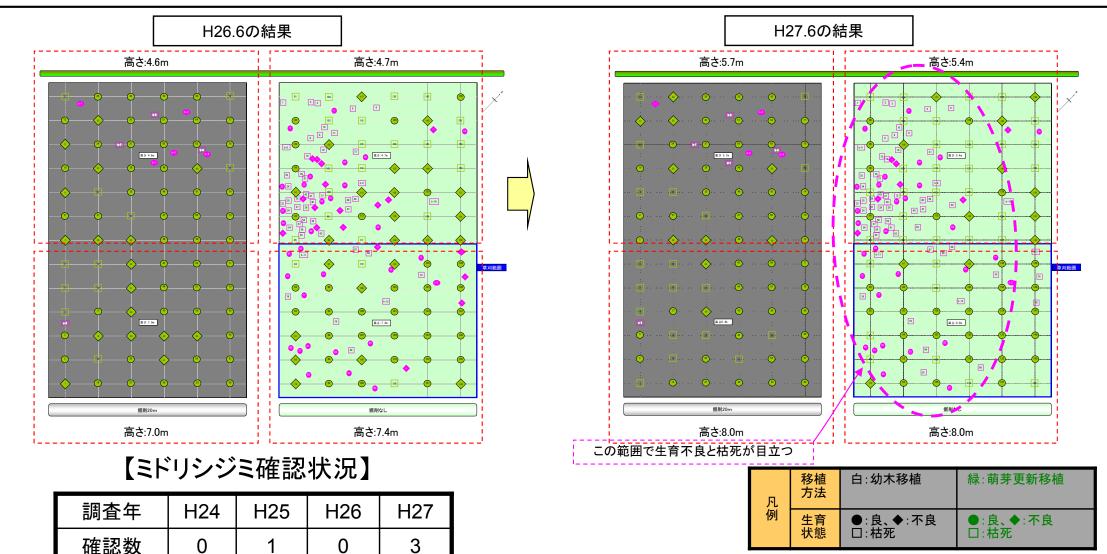
### 【ミドリシジミ確認状況】

調査年	H24	H25	H26	H27
確認数	3	5	7	8

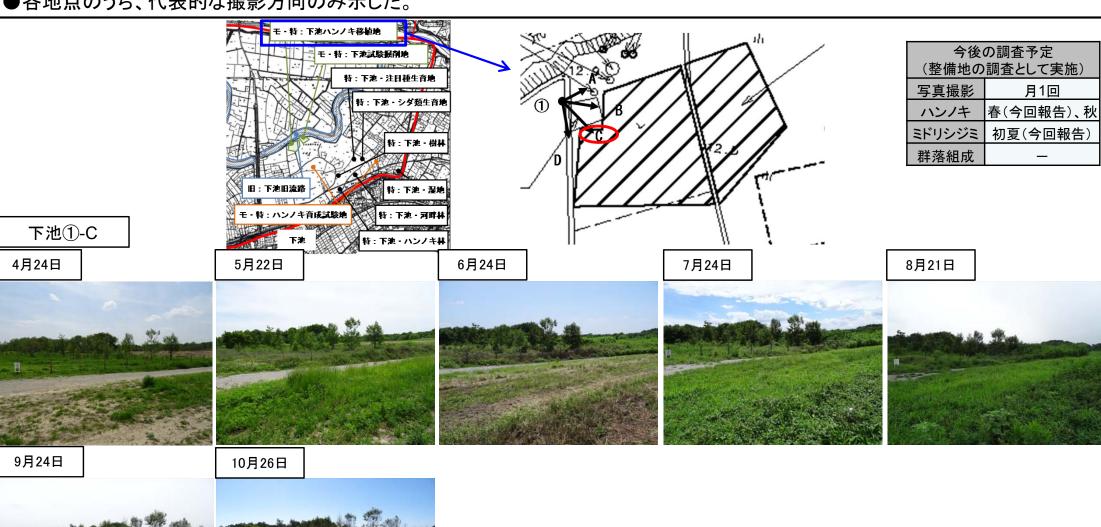
凡	移植 方法	白∶幼木移植	緑:萌芽更新移植	
例	生育	●:良、◆:不良	●:良、◆:不良	
	状態	□:枯死	□:枯死	

#### 5) 下池・ハンノキ育成試験地:試験地③のハンノキ・ミドリシジミ

- ●ハンノキはH26年6月からの生育状態については枯死の増加が認められました。
- ●高さは掘削りで1m程度、掘削無しで0.6m程度、全体で0.9m程度高くなっています。
- ●ミドリシジミ調査は、H27年6月18・19日に実施し、3個体確認されました。



- 6)下池•移植地:写真撮影
- ●各地点のうち、代表的な撮影方向のみ示した。

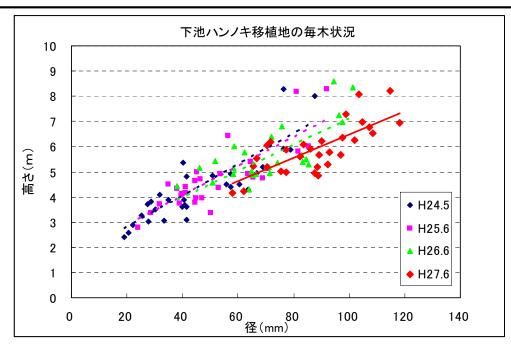


移植したハンノキが順調に生育していた。

周辺には外来種等の草本が繁茂しているが、ハンノキに悪影響を及ぼす状況は認めら れなかった。

### 6) 下池・移植地:ハンノキ・ミドリシジミ

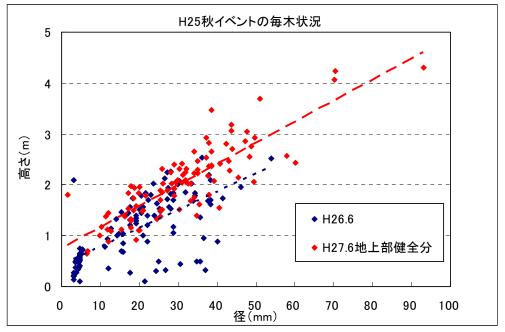
- ●ハンノキ調査は、H27年6月15-16日に実施しました。
- ●移植した33個体のうち、30個体は生育良好、3個体が枯死で、前回から変化はありません。
- ●今回(H27.6)と昨年6月の全個体の平均値を比較すると高さで約0.4m、径で約18mm大きくなっています。
- ●H25秋イベントで移植した個体は、昨年6月より地上部が枯死した個体を除く平均値を比較すると、高さが約0.9m、径で約12mm大きくなっています。
- ●ミドリシジミ調査は、H27年6月18・19日に実施し、8個体確認されました。



### 【ミドリシジミ確認状況】

調査年	H24	H25	H26	H27
確認数	0	3	16	8*

\*中止となった7/1には、通路近くの範囲(全体の1/4ほど)で6個体程度を確認出来たため、この日は20個体前後は利用していたと推計されます。





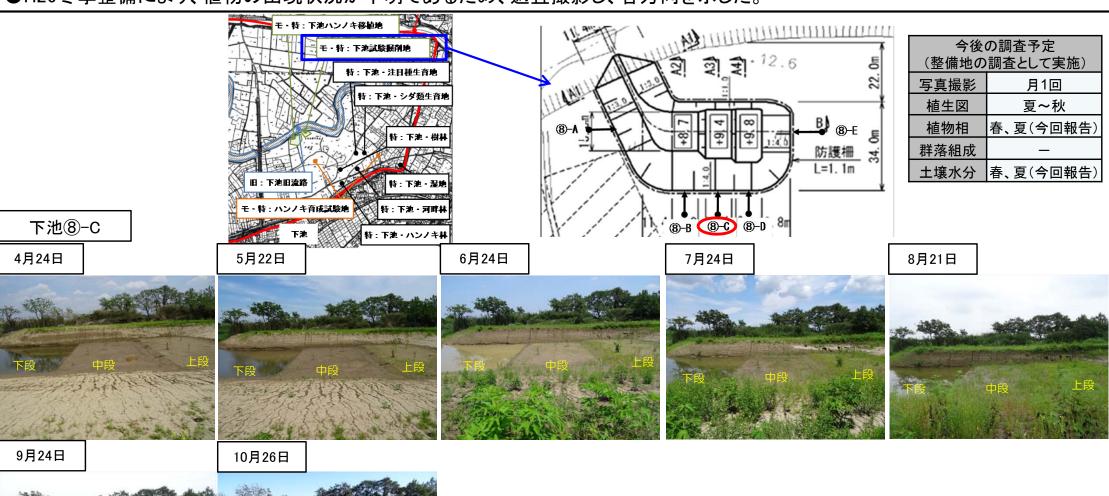
調査実施状況(中止となった7/1)



ハンノキ移植地の確認個体

### 7) 下池 • 試験掘削地:写真撮影

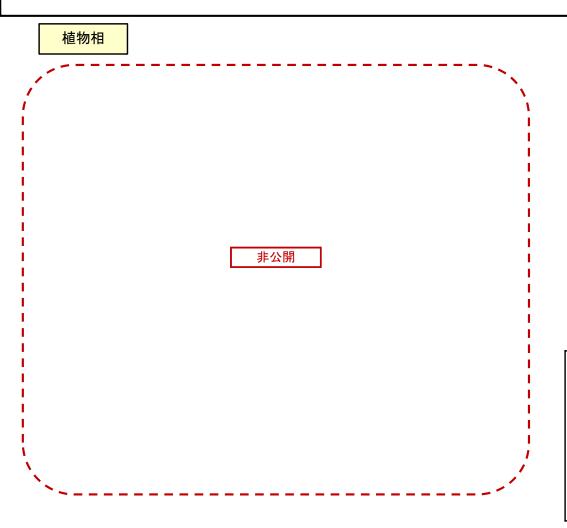
●H26冬季整備により、植物の出現状況が不明であるため、適宜撮影し、各方向を示した。



要 中段 上段 下段 中段 上段

下段は水面が形成され、中~上段は湿地が維持されている。 斜面部、上段は草本の生育が目立ちつつある。 7) 下池 • 試験掘削地:植物 確認種 • 土壌水分

非公開



【土壌水分】

春(中央)、夏(9地点平均)

上段: 47.4% 、51.2% 中段: 54.9% 、53.6% 下段: 冠水のため計測無し

【重要種凡例】国:2012、県:2011

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類(CR+EN)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT、NT1、NT2)、情報不足(DD)、絶滅のおそれがある地域個体群(LP)、地帯別危惧(RT)

#### 【外来種凡例】

外来生物法:2004 特定外来種(特定)

|我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト:2015

「定着を予防する外来種」侵入予防外来種(定着(侵入))、(定着予防外来種)その他の定着予防外来種(定着(その他))、「総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)」緊急対策外来種(総合(緊急))、重点対策外来種(総合(重点))、その他の総合対策外来種(総合(その他))、「適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)」(産業)

|外来種ハンドブック:2002 指定種(O)、その他:植栽・逸出種(植逸)

7) 下池 • 試験掘削地: 植物 重要種 • 特定外来種

